令和５年度

特　別　選　抜

（学校推薦型選抜・総合型選抜）

学 生 募 集 要 項

教育学部・医学部・工学部・生命環境学部

山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI
地域の中核 世界の人材

目　次

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー） 1
2. 入学者選抜日程 14
3. 募集人員（入学定員） 15
4. 出願資格 16
(1) 学校推薦型選抜Ⅰ 16
(2) 学校推薦型選抜Ⅱ 18
(3) 総合型選抜Ⅰ 20
(4) 総合型選抜Ⅱ 21
5. 出願手続 25
6. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談 30
7. 受験票 30
8. 選抜方法 31
(1) 選抜方法の概要 31
(2) 教育学部・医学部【学校推薦型選抜Ⅰ】 32
(3) 医学部【学校推薦型選抜Ⅱ】 37
(4) 工学部【総合型選抜Ⅰ】 38
(5) 工学部・生命環境学部【総合型選抜Ⅱ】 40
9. 受験上の注意 45
10. 合格者発表 46
11. 入学手続 47
12. 個人情報の取扱い 48
13. その他の留意事項 48
14. 入学試験における感染症対応 49
15. 甲府キャンパス案内図 51
16. 医学部キャンパス案内図 52

募集要項について

今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況により、本募集要項の内容とは異なる方法で選抜を実施する場合があります。変更が生じた場合はホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291）に最新の情報を掲載しますので、随時確認してください。

表記一覧表　この募集要項では、以下のとおり略語を使用します。

学　部　名　称

学　　部	表記
教育学部（学校教育課程）	教育
医学部	医学
工学部	工学
生命環境学部	生命

選　抜　名　称

選抜区分	表記
一般選抜　前期日程	前期
一般選抜　後期日程	後期
学校推薦型選抜Ⅰ	推Ⅰ
学校推薦型選抜Ⅱ	推Ⅱ
総合型選抜Ⅰ	総Ⅰ
総合型選抜Ⅱ	総Ⅱ
私費外国人留学生入試	私費

大学入学共通テストの教科・科目

教科	表記	科目	表記
国語	国	国語	国
地理歴史	地歴	世界史Ａ	世Ａ
		世界史Ｂ	世Ｂ
		日本史Ａ	日Ａ
		日本史Ｂ	日Ｂ
		地理Ａ	地Ａ
		地理Ｂ	地Ｂ
公民	公民	現代社会	現社
		倫理	倫
		政治・経済	政経
		倫理、政治・経済	倫政経
数学	数	数学Ⅰ	数Ⅰ
		数学Ⅰ・数学Ａ	数ⅠＡ
		数学Ⅱ	数Ⅱ
		数学Ⅱ・数学Ｂ	数ⅡＢ
		簿記・会計	簿
		情報関係基礎	情
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		地学基礎	地基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
		地学	地
外国語	外	英語	英
		ドイツ語	独
		フランス語	仏
		中国語	中
		韓国語	韓

個別学力検査等の科目等

科目等	表記
実技	実
小論文	小
面接	面
その他	他

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

山梨大学のアドミッションポリシーは、まず、本学が求める人物像と入学者に求める資質能力を示し、学部ごと、および学科・コース等ごとに、育成目標、入学者に求める資質能力・人物像、入学前に学習しておくことが期待される内容、試験区分別の入学者選抜の基本方針を示しています。

そのうち、「育成目標」は、本学のディプロマポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）との一貫性を意識し、入学後にどのような力を発展・向上させるのかを簡潔に示したものです。「入学者に求める資質能力・人物像」には、入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなどを示しています。「試験区分別の入学者選抜の基本方針」は、入学者選抜において、アドミッションポリシーを具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用するのかなどを説明しています。なお、「入学前に学習しておくことが期待される内容」も学部ごと、および学科・コース等ごとに示していますので、希望する学部、学科・コースに合わせて、高等学校での学習の参考にしてください。

理念・目的

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

キャッチフレーズ

地域の中核、世界の人材

教育目標

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見いだし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

求める人物像

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質能力を有する人を求めます。

入学者に求める資質能力

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

＊ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法の精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

---

(1) 教育学部

理念・目的

人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的な知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的にしています。

育成目標

豊かな人間性と教育文化を創造する教員の養成

本学の入学者受け入れ方針に加え、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教員の養成を目指しています。そのために、協働性や生涯にわたる学びへの意欲と能力を育成し、人間・社会・自然等に関する幅広い教養と教育についての高度な実践力と専門性を持った教員を養成する教育・研究を行います。

求める資質・能力・人物像

教育学部では教員を目指す強い意志を持った人を求めています。そのために、以下のような資質・能力を持つ人の受験を期待します。

- 子どもの育ちや学校教育について高い関心を持てる人
- 自ら深く学ぶために課題を見出すことができる人
- 課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- 多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

入学前に学習しておくことが期待される内容

本学部における教育は、高等学校等で修得する各科目に関して基礎的な学力を有することを前提に行われます。また、論理的な思考力、自分の考えを適切に表現できる力、コミュニケーション能力、及び各分野への関心や探究心を備えておくことを期待します。各教科・科目においては、広く以下のような内容を心がけて学習しておくことが重要です。

- 国語については、現代文、古文、漢文における基礎的な知識と読解力
- 地理歴史・公民については、履修した各科目における基礎的な知識と社会的思考力
- 数学については、履修した各科目における基礎的な知識と数学的思考力
- 理科については、履修した各科目における基礎的な知識・技能と科学的思考力
- 外国語については、外国語による聞く、読む、話す、書くことに関する基礎的な知識・技能
- 情報については、情報処理または問題解決に関する基礎的な知識・技能
- 家庭については、家庭生活に関する基礎的な知識・技能
- 音楽については、音楽に関する基礎的な知識と表現技能
- 美術については、美術に関する基礎的な知識と造形能力
- 保健体育については、運動と健康に関する基礎的な知識・技能

幼小発達教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間の生涯発達全般を見通しつつ、幼児期から児童期の子どもの発達と教育について他者とともに学び合い、子どもの思いや願いに寄り添ってその育ちを支える教員の養成を目指しています。人間や社会といった広い視野から、子どもの発達や教育を考えることに関心があり、幼稚園や小学校の教員などを目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、小論文と面接を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文では、教育や児童・生徒の発達過程に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

障害児教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、高度な教職教養や専門教養を通して障害のある子どものことを深く理解した上で、確かな実践的技能を駆使して、かつ同僚と協働して、熱意および探究心をもちながらその子どもに働きかけることのできる教員の養成を目指しています。子どもの心のメカニズムや障害のある子どもが抱える生活上の困難さ、学校教育のあり方などに強い興味や関心があり、特別支援学校や小学校などの教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、小論文と面接を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文では、子どもの発達や学校教育などに関する事項について出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。面接では、自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。

言語教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間の思考・表現・コミュニケーションの基盤である言語の教育を担う教員の養成を目指しています。1 年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1 年次後期から「国語教育系」「英語教育系」の 2 つの専門領域に分かれて学びます。「国語教育系」では、日本語、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の国語科や書道の教員を目指す学生を求めています。「英語教育系」では、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解、英語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の英語科の教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、小論文と面接を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文では、言語や教育に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。面接では、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。なお、国語教育系の志望者に英語教育について質問したり、英語教育系の志望者に国語教育について質問したりすることはありません。

生活社会教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間生活とその基盤となる人間社会を創造していくための豊かな教養と実践的指導力を持つ教員の養成を目指しています。1 年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1 年次後期から「社会科教育系」「家政教育系」の 2 つの専門領域に分かれて学びます。「社会科教育系」では、法学、政治学、社会学、経済学、哲学・倫理学、歴史学、地理学及び社会科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の社会科の教員を目指す学生を求めています。「家政教育系」では、食物学、被服学、住居学、保育学、家庭経営学及び家庭科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の家庭科の教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、小論文と面接を志望する系（社会科教育系・家政教育系）ごとに課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文は、社会科教育系では私たちの社会と教育に関わる論題を、家政教育系では家庭生活と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。面接では、コース・系の教育活動に対する理解や、教職への意欲・適性を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（専門・総合学科推薦入試）家政教育系では、小論文と面接を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文では、家庭生活と教育に関わる論題を出題し、家政教育系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。面接では、家政教育系の教育活動に対する理解や、高等学校での家庭科に関する学習、教職への意欲・適性を評価します。

科学教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、自然科学を理解するための総合的な視野と、理数系の深い専門知識を持った教員の養成を目指しています。1 年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1 年次後期から「数学教育系」「理科教育系」「技術教育系」の 3 つの専門領域に分かれて学びます。「数学教育系」では、代数学、幾何学、解析学、確率・統計、数学科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の数学の教員を目指す学生を求めています。「理科教育系」では、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の理科の教員を目指す学生を求めています。「技術教育系」では、木材加工学、金属加工学、機械工学、電気・電子工学、情報工学、農学、技術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校の技術の教員、高等学校の工業の教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、小論文と面接を志望する系（数学教育系・理科教育系・技術教育系）ごとに課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文では、科学（数学または理科または技術）と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。面接では、コース・系の教育活動に対する理解、入学後の教育研究に対する意欲や教科（数学または理科または技術）に関する資質・能力を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（専門・総合学科推薦入試）技術教育系では、口頭試問を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、口頭試問の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。口頭試問では、コース・技術教育系での学習の前提となる知識・技能・思考力・判断力・表現力を有しているかを判定するための学力評価（「英語」、「数学」、「理科」及び「課題研究」に関する内容を含みます。）を行うとともに、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

芸術身体教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間の根源的な営みともいえる芸術活動と身体活動を通して、芸術文化あるいは心身の発育・発達に関する内容を学びながら、専門的かつ実践的な能力を持った教員の養成を目指しています。1 年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1 年次後期から「音楽教育系」「美術教育系」「保健体育系」の 3 つの専門領域に分かれて学びます。「音楽教育系」では、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の音楽の教員を目指す学生を求めています。「美術教育系」では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の美術の教員を目指す学生を求めています。「保健体育系」では、体育実技（体操、陸上、球技、水泳など）、体育理論、保健、保健体育科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の保健体育の教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、実技検査と面接を志望する系（音楽教育系・美術教育系・保健体育系）ごとに課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」、「活動実績報告書」（保健体育系の志願者のみ）の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。実技検査は、志望する系に応じて音楽実技、美術実技、体育実技のいずれかを課し、志望する系での学習の前提となる知識・技能を評価します。面接では、志望する系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

山梨県小学校教員養成特別教育プログラム

育成目標と求める能力・人物像

本プログラムでは、山梨県の教育指針や教育事情を広い視野をもって学び、現代的教育課題の解決に向けて主体的に取り組み、実践的な教育力とグローバル化に対応した能力を兼ね備えた山梨県の小学校教員の養成を目指しています。そのため、小学校教諭一種免許状に加え、中学校教諭二種免許状、もしくは特別支援学校教諭一種免許状を取得します。カリキュラムの特徴として、全学共通教育科目（一般教養科目）や学部専門科目を学ぶことに加えて、1 年次では附属小学校における教育現場の実地体験、2 年次では学校教育分野における ICT 活用について学びます。さらに、3 年次からは小学校教育の現代的課題に関する科目、山梨の地域素材や教育事情といった地域に根差した科目を通じて学びを深めます。このことから、児童の心身の発達やそれを支える山梨県の教育に強い関心があり、山梨県の小学校教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（山梨県の小学校教員志望者推薦入試）は、山梨県の小学校教員を志望する受験生を対象に、学校教育課程で募集人員を定めて実施するものです。本選抜では、小論文と面接を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、山梨県の小学校教員を志望する意思と展望が明確であるか等を評価します。小論文では、小学校教育や児童の発達過程に関わる論題を出題し、「山梨県小学校教員養成特別教育プログラム」での学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。面接では、山梨県の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

---

(2) 医学部

理念・目的

深い人間愛と広い視野を持ち、医の倫理を身に付け、科学的根拠に基づいた医学的知識、技術を備え、地域医療や国際医療に貢献できる医療人や国際的に活躍できる優れた研究者を養成する教育・研究を行います。

育成目標

国民の健康を支える医療人の育成

病める人の苦痛を自らの苦痛と感じることができ、生涯にわたって医学的知識、技術の修得に努め、地域社会・国際社会の保健医療・福祉に貢献する人材及び疾患の原因解明や治療法の開発に寄与できる研究者の養成を目指します。

求める資質・能力・人物像

医学部では、「国民の健康を支える医療人の育成」を行うため、次のような資質と能力を持つ人を求めています。

- 単に病気やけがを治すだけでなく、一人一人に最良の医療を提供するために、努力を惜しまない人
- 健康問題に興味があり、地域医療や国際医療に貢献したいと考えている人
- 疾患の原因を解明し、治療法を開発したいと考えている人
- 深い人間愛と広い視野を持ちコミュニケーション能力が高い人

医学科

育成目標と求める能力・人物像

医学科では、幅広い知識と高度な技術の獲得とともに、人格の涵養にも重点を置いたカリキュラムにより、次世代の医療を担う優れた臨床医及び医学研究者の養成を目指しています。国民の健康を支える医学・医療に将来、携わることへの強い意志と深い関心を持ち、総合的理解力、論理的思考力、問題解決能力を備え、他者とのコミュニケーション及び自己表現に優れるとともに、自己啓発のために生涯にわたって学ぶことを継続する意欲を持つ人を求めています。

入学前に学習しておくことが期待される内容

医学科で幅広い医学的知識を学習するために必要な基礎学力を身につけておいてください。特に、大学受験の理科科目として物理学、化学を選択した学生であっても生物学の基礎を修得していることを期待しています。外国語の修得には時間がかかりますので、入学前から常に英語力の向上を目指してください。また、多彩な人との豊かな人間関係を築くこと、様々な組織の中でチームワークによる活動の経験を持つことによって、医療人に求められる高い倫理観、信頼される人間性、広い社会的視野を涵養することを心掛けてください。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、出願書類に加え、将来本学を含む山梨県内での医療活動に従事する意欲の有無やその理由も合否判定の材料とします。また第 1 段階選抜合格者に面接を課します。これにより情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考を行います。さらに、「調査書」など各教科の学習記録により、医学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願書類のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいことの具体性、将来展望の明確性などを測る目的で主に面接時の資料として活用します。「学校長推薦書」からは学力のみならず、高校生活での主体的活動の有無や積極性など人間性の豊かさも評価します。これらの選考により将来人間性豊かな医師または独創的な医学研究者に成長しうる学生であるかどうかを総合的に判断します。なお第 1 段階選抜は選抜方法・合否判定基準に基づき実施します。

看護学科

育成目標と求める能力・人物像

看護学科は、生命の尊厳を基本とし、看護の倫理性を身につけ、深い人間愛と広い視野を持つ看護専門職及び看護学研究者の育成を目的としています。そのため看護学科では、人間への深い関心と優れたコミュニケーション能力を備え、多様な健康問題を科学的に判断し解決できる能力を有し、保健・医療・福祉に貢献するために継続的に努力できる人を求めています。

入学前に学習しておくことが期待される内容

看護学科入学までに高等学校で学ぶ数学、理科、国語、英語、社会の内容を十分理解していることが必要です。加えて、主体的に学習する態度を身につけ、多様な世代の人々と豊かな人間関係を築き、国内外の社会情勢の変化に眼を向けてください。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰでは、出願書類に加え、受験者全員に面接を課します。これにより、情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考を行います。また、「調査書」など各教科の学習記録により、看護学を学ぶに足りる基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願書類のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいことの具体性、将来展望の明確性などを測る目的で主に面接時の資料として活用します。「学校長推薦書」からは学力のみならず、高校生活での主体的活動の有無や積極性など人間性の豊かさも評価します。これらの選抜により将来人間性豊かな看護職に成長しうる学生であるかどうかを総合的に判断します。選抜は以上の結果に、小論文によるバランスのとれた判断力、論理的構想力、表現力等の評価を加え総合的に行います。

(3) 工学部

理念・目的

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行います。

育成目標

未来世代を思いやるエンジニアリング教育

本学の入学者受け入れ方針に加え、基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけたグローバルに活躍できる人材の養成を目指しています。

求める資質・能力・人物像

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- 4 年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- 各学科で学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
- 学科別に提示する数学、理科の基礎力を有していること
- 国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- 書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- 国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- 実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

機械工学科

育成目標と求める能力・人物像

人間と機械との結びつきを理解し、自然保護と社会の繁栄さらに人類の幸福に貢献できる技術者の育成を目指しています。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへと応用する技術を習得します。そのために次のような人を求めています。

- 数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
- 実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
- 人と機械とが関わるものづくりに興味のある人
- 独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で履修した科目、とりわけ数学、物理、英語をしっかりと理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また、国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、出願書類と面接により第 1 段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録の中で、特に数学・理科・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」はアドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価します。これらの出願書類は面接用事前レポートと同様に面接の際の基礎資料として用います。学力評価として、大学入学共通テスト（5 教科 7 科目）を課します。

メカトロニクス工学科

育成目標と求める能力・人物像

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の 3 分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本学科では、これら 3 分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人。
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分理解していることが必要です。またメカトロニクス工学科は、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、出願書類と面接、小論文により第１段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録の中で、主に数学・理科・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」については、アドミッションポリシーで示した育成目標に必要な能力・資質を判断し、「志願者評価書」における学力の３要素も加味して総合的に判断します。学力評価として、大学入学共通テスト（5 教科 7 科目）を課します。

電気電子工学科

育成目標と求める能力・人物像

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本学科は、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発送電システム、スマートフォンなどの ICT 機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で履修した数学、理科、英語、国語、地歴公民で学習した内容がしっかり理解できていることを望んでいます。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してきてください。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、出願書類と面接、小論文により第１段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録の中で、特に数学・理科（特に物理）・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」はアドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の際の資料としても用います。小論文と面接では、数学と物理の基礎学力、論理的な説明力を評価します。学力評価として、大学入学共通テスト（4 教科 6 科目）を課します。

コンピュータ理工学科

育成目標と求める能力・人物像

コンピュータ理工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本学科は、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人
- 数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。コンピュータ理工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工系の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

総合型選抜Ⅰでは、小論文と面接を課します。「調査書」では、基礎的学力を備えているかを判定するとともに、課外活動や取得した資格等により向上心や主体性などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性などを重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。「志願者評価書」では、本学アドミッションポリシーに示される能力及び人物としての特性を備えているかを総合的に判断します。「調査書」や「多面的・総合的な評価のための申告書」は面接の際の資料としても用います。小論文には数学、理科（物理）、外国語（英語）の基礎学力を問う設問を含み、学力評価を行います。

総合型選抜Ⅱでは、出願書類により第1段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。「調査書」については、基礎的学力を備えているかを判定するとともに、課外活動や取得した資格等により向上心や主体性などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性などを重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。学力評価として、大学入学共通テスト（教科・科目数は型により異なる）を課します。

土木環境工学科

育成目標と求める能力・人物像

土木環境工学系の技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。本学科では、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者」の育成を目指しています。そのために、以下のような人を求めています。

- 自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりに携わりたい人
- 防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。土木環境工学は自然や社会との接点が大きい分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、出願書類と面接、小論文により第1段階選抜を実施し、最終選抜には第1段階選抜の成績に加え大学入学共通テストを用います。「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録において、バランスの良い基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項において、学科への関連の内容の記載を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」はアドミッションポリシーを理解し、学科で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を確認するための参考資料として利用し、「志願者評価書」はこれを補完するものとして活用します。これら出願書類は面接の資料としても用います。小論文は講義を受講し、その内容について設問に解答する方式で実施します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

応用化学科

育成目標と求める能力・人物像

応用化学を学修した卒業生は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測などに携わることができます。本学科では、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高機能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
- 化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

総合型選抜Ⅰでは、面接及び化学に関する口頭試問あるいは化学グランプリの成績、ならびに化学実験に関する試問を課します。「調査書」では、本学科における修学が可能な基礎学力を備えるかを評価すると同時に面接の資料とします。面接では、目的意識、勉学意欲、論理的思考力などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、化学に対する強い興味と特に化学を専攻する希望を持つかを評価します。学力評価として、化学に関する口頭試問あるいは化学グランプリの成績、ならびに化学実験に関する試問により、化学に関する基礎知識ならびに化学実験に関する知識・技能や興味を評価します。

総合型選抜Ⅱでは、「調査書」と面接により第1段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストと「多面的・総合的な評価のための申告書」を用います。「調査書」では、本学科における修学が可能な基礎学力を備えるかを評価すると同時に面接の資料とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、化学に関する知識と技術を生かして社会に貢献しようとする意欲を持ち、本学科の教育課程を履修できる学習習慣を備えるかを評価します。学力評価として大学入学共通テスト（3教科5科目のうち「化学」ほか2科目）を課します。

先端材料理工学科

育成目標と求める能力・人物像

材料科学は、原子・分子レベルの操作で新材料を創り、新たな機能を生み出すことを目的とした学問であり、科学技術、社会が変化しても持続的な就業能力を持った人材の育成を目指しています。そのために次のような人を求めています。

- 物理と化学の知識を合わせ持ち、原子・分子レベルの操作で先端材料を作り、新機能を生み出すことによって新しい社会を築いていこうとする意欲ある人
- 数学・理科に関する諸々の話題、疑問点を追究する強い好奇心を持ち、それを生かした社会貢献に意欲的な人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学そして物理と化学を理解していること、それ以前にそれらが好きであることが重要です。研究論文や技術報告書を読む、あるいは自ら執筆するためには英語や国語の力、特に論理を組み立てていく能力も必要です。入学時にこれらをすべて備えていることを必ずしも要求しませんが、将来の自分のために投資しておくという基本的学習習慣だけは必ず身につけておくことを期待します。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、出願書類と面接、小論文により第1段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。「調査書」では、高校での学習状況と面接等の結果の整合性を確認します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、学習意欲等の学力試験によって測ることができない能力や態度を評価し、「志願評価書」でその内容との整合性および本学進学に対する意志を確認します。学力評価として大学入学共通テスト（5教科7科目）を課すことに加え、数学・物理・化学・英語に関する課題が与えられ小論文と面接発表資料を作成し、面接発表（プレゼンテーションと質疑応答）による評価を行います。面接発表では志望動機・学習意欲及び適性等を総合的に判定します。

(4) 生命環境学部

理念・目的

自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。

育成目標

自然と社会の共生科学の創生

本学の入学者受け入れ方針に加え、自然と社会の共生科学に基づき、広範な知識を統合し、問題を発見し解決する能力を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、文理融合の視点から生命・食・環境・経営などの諸課題を多角的に分析し、その解決に向けて実践的に取り組むことのできる教育・研究を行います。

求める資質・能力・人物像

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を目指し、次のような資質と能力を持つ人を求めています。

- 高等学校で履修する各教科・科目をまんべんなく学修し、基礎知識を身につけていること
- 自然環境の成り立ちや生物の多様性などを理解するために、理科（物理、化学、生物、地学）や数学、情報など、自然科学や数理科学の基礎学力を身につけていること
- 社会の特質や人間としての在り方などについて理解するために、社会科学の基礎となる社会（地理、歴史、公民）の基礎学力を身につけていること
- 文章を読解したり自らの考えを論理的な文章で表現したりするために、国語の基礎学力を身につけていること
- グローバルな問題に取り組むために、必要な基礎的な外国語の能力を有すること
- 実験やフィールド調査を自主的かつ継続的に取り組むことのできる行動力を有すること
- 教員や先輩、友人、留学生等と積極的に対話できるコミュニケーション力を有すること

生命工学科

育成目標と求める能力・人物像

バイオインフォマティクス、ナノバイオテクノロジー、ゲノミクスをはじめとする先端バイオを学ぶことにより、食品生産、健康増進、再生医学、バイオエネルギー、環境保全などに関する新しい技術を創出する能力を身につけ、各分野の技術者や研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識を有していること
- 論理的思考力を養うため、数学の素養を身につけていること
- 入学試験で課している科目について、十分な学力を有していること

入学前に学習しておくことが期待される内容

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、出願書類をもとに面接を実施し、最終的には大学入学共通テストで 5 教科 7 科目において基礎学力を評価します。「調査書」では、各教科・科目等の学習記録において、基礎学力の定着度合いを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」では、アドミッションポリシーに適合した学力の 3 要素を身につけているかを総合的に判定します。面接では、アドミッションポリシーへの適性と入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

地域食物科学科

育成目標と求める能力・人物像

果樹や野菜などの農作物の栽培、食品やワインの製造、及びその栄養・有用成分の機能と利用などに関する食物科学や農学の知識・技術を習得し、食料問題の解決に生かせる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 本学科の教育研究の内容を理解するための基礎となる授業科目（生物、化学、物理学、数学等）を十分に理解できていること
- 自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけていること
- 食料生産・利用あるいはワイン製造に関する問題解決に向けて、主体的に粘り強く自己研鑽につとめる熱意と実行力があること
- 本学科で学んだことを活かして地域社会で活躍したいという目的意識と向上心があること

入学前に学習しておくことが期待される内容

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、出願書類をもとに面接を実施し、最終的には大学入学共通テストで 5 教科 7 科目において基礎学力を評価します。「調査書」では、各教科・科目等の学習記録において、基礎学力の定着度合いを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」では、アドミッションポリシーに適合した学力の 3 要素を身につけているかを総合的に判定します。面接では、アドミッションポリシーへの適性と入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

環境科学科

育成目標と求める能力・人物像

生物資源の持続的な生産を支える土壌、水、大気や生態系に関する専門知識を学ぶことによって、自然環境と共生する持続可能な社会の創生に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 自然環境の成り立ちを理解するために必要な理科（物理、化学、生物、地学）の基礎学力を備えていること
- 論理的な思考を行う上で必要な数学の基礎学力を備えていること
- 他者とのコミュニケーションや自身の考えを的確に伝えるために必要な国語や外国語の素養を有していること
- 環境問題を解決するために不可欠な社会系科目（地理歴史や公民）に対する理解があること
- 自然と人間社会との共生に強い関心があり、本学科で学んだことを活かして持続可能な社会の創生に貢献したいという意欲があること

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で履修した数学や情報、物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身についていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、出願書類をもとに面接を実施し、最終的には大学入学共通テストで 5 教科 7 科目において基礎学力を評価します。「調査書」では、各教科・科目等の学習記録において、基礎学力の定着度合いを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」では、アドミッションポリシーに適合した学力の 3 要素を身につけているかを総合的に判定します。面接では、アドミッションポリシーへの適性と入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

地域社会システム学科

育成目標と求める能力・人物像

経済・経営・行政に強い関心をもち、経済・経営・政策に関する社会科学および数学的な見方や考え方を学び、国際的視野をもって、観光や食をはじめとする産業創造等を通し地域社会の持続的な発展に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っている人
- さまざまな学問分野の成果を自ら取り込む真摯な姿勢とこれをさまざまな場面で生かす能力がある人
- 科学的知見に基づき地域社会の繁栄の実現に貢献できる人

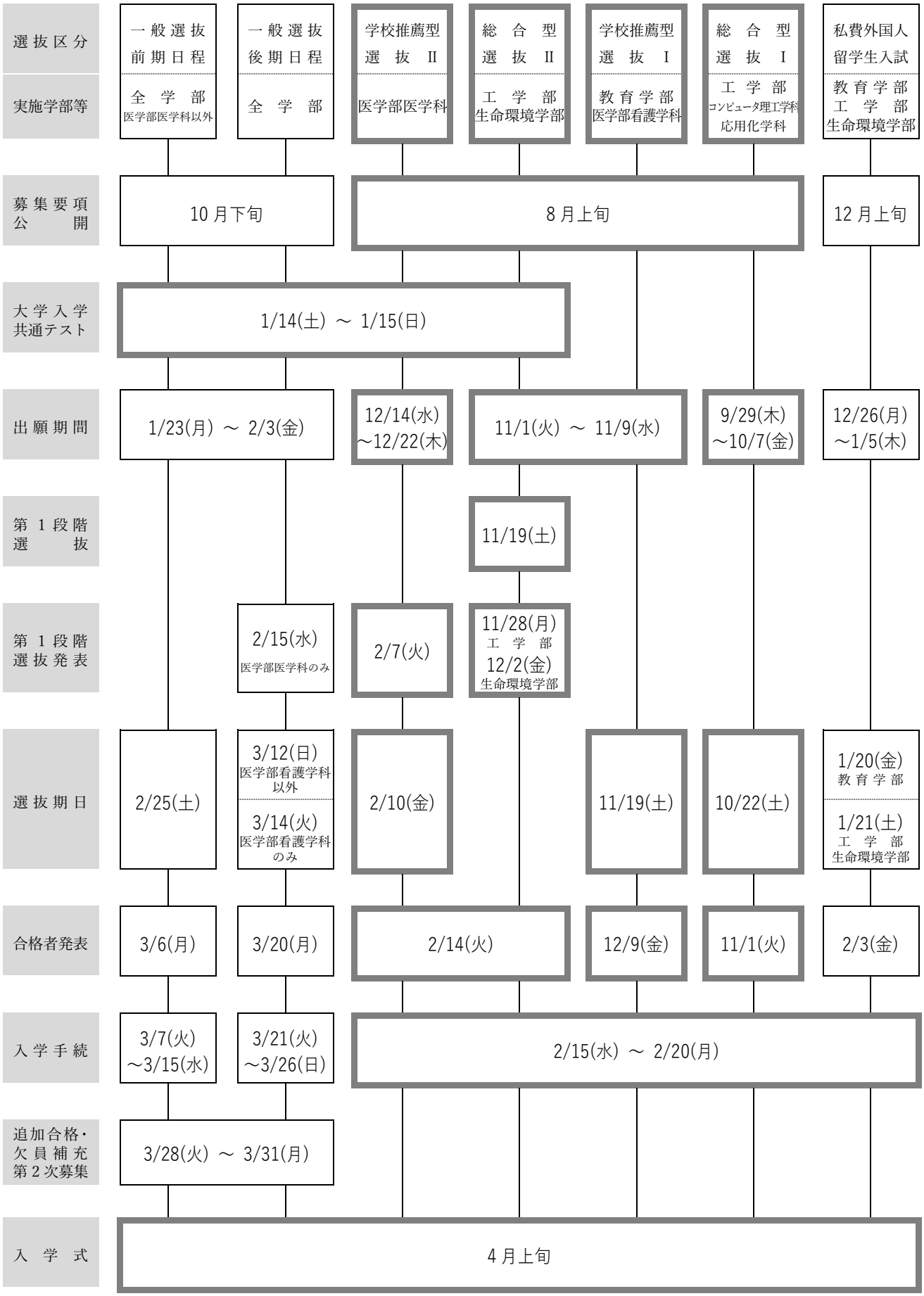
入学前に学習しておくことが期待される内容

日常的に新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題へ関心を寄せる習慣を身につけておくことを期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストと面接を課します。大学入学共通テストでは 5 教科 6 科目又は 4 教科 6 科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに適合した学力の 3 要素を身につけているか、アドミッションポリシーの理解度、入学後の教育研究に対する意欲や適性等を総合的に評価します（口頭試問を課す場合があります)。「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。

2. 入学者選抜日程


選抜区分
実施学部等
募集要項公開
大学入学共通テスト
出願期間
第1段階選抜
第1段階選抜発表
選抜期日
合格者発表
入学手続
追加合格・欠員補充第2次募集
入学式
一般選抜前期日程
全学部
医学部医学科以外
一般選抜後期日程
全学部
学校推薦型選抜Ⅱ
医学部医学科
総合型選抜Ⅱ
工学部
生命環境学部
学校推薦型選抜Ⅰ
教育学部
医学部看護学科
総合型選抜Ⅰ
工学部
コンピュータ理工学科
応用化学科
私費外国人留学生入試
教育学部
工学部
生命環境学部
10月下旬
8月上旬
12月上旬
1/14(土) ～ 1/15(日)
1/23(月) ～ 2/3(金)
12/14(水)
～12/22(木)
11/1(火) ～ 11/9(水)
9/29(木)
～10/7(金)
12/26(月)
～1/5(木)
11/19(土)
2/15(水)
医学部医学科のみ
2/7(火)
11/28(月)
工学部
12/2(金)
生命環境学部
2/25(土)
3/12(日)
医学部看護学科以外
3/14(火)
医学部看護学科のみ
2/10(金)
11/19(土)
10/22(土)
1/20(金)
教育学部
1/21(土)
工学部
生命環境学部
3/6(月)
3/20(月)
2/14(火)
12/9(金)
11/1(火)
2/3(金)
3/7(火)
～3/15(水)
3/21(火)
～3/26(日)
2/15(水) ～ 2/20(月)
3/28(火) ～ 3/31(月)
4月上旬

3. 募集人員（入学定員）

学部	課程・学科・コース・系		入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜					総合型選抜		私費	合計
				前期	後期	Ⅰ	Ⅰ(A)	Ⅰ(B)	Ⅰ(C)	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ		
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	120	8	3	-	2	-	-	-	-	-	若干	13
		障害児教育コース		10	4	-	4	-	-	-	-	-	若干	18
		言語教育コース 国語教育系		7	2	-	2	-	-	-	-	-	若干	13
		言語教育コース 英語教育系				-	2	-	-	-	-	-		
		生活社会教育コース 社会科教育系		11	3	-	2	-	-	-	-	-	若干	20
		生活社会教育コース 家政教育系				-	3	1	-	-	-	-		
		科学教育コース 数学教育系		14	4	-	2	-	-	-	-	-	若干	26
		科学教育コース 理科教育系				-	2	-	-	-	-	-		
		科学教育コース 技術教育系				-	3	1	-	-	-	-		
		芸術身体教育コース 音楽教育系		6	4	-	2	-	-	-	-	-	若干	18
		芸術身体教育コース 美術教育系				-	2	-	-	-	-	-		
		芸術身体教育コース 保健体育系				-	4	-	-	-	-	-		
		山梨県小学校教員養成特別教育プログラム		-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	12
	計		120	56	20	-	30	2	12	-	-	-	若干	120
医学部	医学科		105	-	90	-	-	-	-	15 以内	-	-	-	105
	看護学科		60	30	5	25	-	-	-	-	-	-	-	60
	計		165	30	95	25	-	-	-	15 以内	-	-	-	165
工学部	機械工学科		55	40	8	-	-	-	-	-	-	7	若干	55
	メカトロニクス工学科		55	39	7	-	-	-	-	-	-	9	若干	55
	電気電子工学科		55	41	5	-	-	-	-	-	-	9	若干	55
	コンピュータ理工学科		55	30	5	-	-	-	-	-	8	12	若干	55
	土木環境工学科		55	39	7	-	-	-	-	-	-	9	若干	55
	応用化学科		55	26	5	-	-	-	-	-	12	12	若干	55
	先端材料理工学科		35	27	6	-	-	-	-	-	-	2	若干	35
	計		365	242	43	-	-	-	-	-	20	60	若干	365
生命環境学部	生命工学科		40	32	5	-	-	-	-	-	-	3	若干	40
	地域食物科学科		37	30	5	-	-	-	-	-	-	2	若干	37
	地域食物科学科	ワイン科学特別コース		(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)
	環境科学科		30	22	5	-	-	-	-	-	-	3	若干	30
	地域社会システム学科		48	40	5	-	-	-	-	-	-	3	若干	48
	地域社会システム学科	観光政策科学特別コース		(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)
	計		155	124	20	-	-	-	-	-	-	11	若干	155
合計			805	452	178	25	30	2	12	15 以内	20	71	若干	805

- 各選抜方法による合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に入学定員を確保する方向で調整します。
- 教育学部の学校推薦型選抜：Ⅰ(A) 教科別推薦入試、Ⅰ(B) 専門・総合学科推薦入試、Ⅰ(C) 山梨県の小学校教員志望者推薦入試の３つに区分して実施します。
- 生命環境学部の特別コースの人員について、ワイン科学特別コースは地域食物科学科、観光政策科学特別コースは地域社会システム学科の募集人員に含まれ、内訳は目安です。
- 医学部医学科の入学定員について、新医師確保総合対策・緊急医師確保対策・経済財政改革の基本方針 2009 に基づいた暫定的な医学科定員増の延長申請を予定しています。申請し承認された場合は、学校推薦型選抜Ⅱの募集人員が「35 以内」、入学定員が「125」となります。変更が生じた場合はホームページで公表します。

4. 出願資格

(1) 学校推薦型選抜Ⅰ

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す・課さないを問わず）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。

教育学部【Ⅰ(A 教科別推薦入試)】

次の各号の全てに該当する方

＊1校から推薦できる人数は、幼小発達教育コース及び障害児教育コースはコースごとに1人とし、言語教育コース、生活社会教育コース、科学教育コース、芸術身体教育コースは系ごとに1人とします。

(1) 全国の国公私立高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を2022年度中に卒業した方又は卒業見込みの方
(2) 高等学校等の学業成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況等が下表の範囲の方
(3) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い意欲をもった方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方
(4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

コース・系		対象となる志願者の範囲
幼小発達 教育コース		全体の学習成績の状況が3.5以上
障害児 教育コース		全体の学習成績の状況が3.5以上
言語 教育コース	国語教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上、 かつ国語の学習成績の状況が4.0以上
	英語教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上、 かつ外国語の学習成績の状況が4.0以上
生活社会 教育コース	社会科教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上、 かつ地理歴史及び公民のそれぞれの学習成績の状況が4.0以上
	家政教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上
科学 教育コース	数学教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上、 かつ数学の学習成績の状況が4.0以上、 かつ数学Ⅲを履修済み又は履修中であること
	理科教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上、 かつ数学及び理科のそれぞれの学習成績の状況が4.0以上
	技術教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上
芸術身体 教育コース	音楽教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上
	美術教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上
	保健体育系	全体の学習成績の状況が3.5以上

教育学部【Ⅰ(B 専門・総合学科推薦入試)】

次の各号の全てに該当する方

＊1校から推薦できる人数は、系ごとに1人とします。

(1) 全国の国公私立高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を2022年度中に卒業した方又は卒業見込みの方

(2) 家政教育系.....高等学校の家庭に関連する学科等又は総合学科において、家庭に関する科目を含め、職業に関する科目を20単位以上履修した方又は履修見込みの方
技術教育系.....高等学校の農業、工業、情報に関連する学科又は総合学科において、農業、工業、情報に関する科目を含め、職業に関する科目を20単位以上履修した方又は履修見込みの方

(3) 高等学校の学業成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況等が下表の範囲の方

(4) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い意欲をもった方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方

(5) 合格した場合は、入学することを確約できる方

コース	系	対象となる志願者の範囲
生活社会 教育コース	家政教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上 かつ「家庭」に関する科目の学習成績の状況が4.0以上
科　　学 教育コース	技術教育系	全体の学習成績の状況が3.5以上 かつ「農業」、「工業」又は「情報」に関する科目の学習成績の状況が4.0以上

教育学部【Ⅰ(C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試)】

次の各号の全てに該当する方

＊1校から推薦できる人数は、2人までとします。

(1) 全国の国公私立高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を2022年度中に卒業した方又は卒業見込みの方

(2) 高等学校等の学業成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況等が下表の範囲の方

(3) 本学部の学生となるのに十分な適性と、山梨県の小学校教員になりたいという強い意欲をもった方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方

(4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

プログラム	対象となる志願者の範囲
山梨県小学校教員養成特別教育プログラム	全体の学習成績の状況が4.0以上

医学部【Ⅰ(看護学科)】

次の各号の全てに該当する方

＊1校から推薦し得る人数に制限はありません。

(1) 2020年度中、2021年度中又は2022年度中に高等学校又は中等教育学校（後期課程）を卒業した方又は卒業見込みの方、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方又は修了見込みの方

(2) 高等学校等の学業成績が優秀で、「調査書」の全体の学習成績の状況が4.0以上の方

(3) 本学部志望の動機が明確で、将来看護学の分野で社会に貢献したいという意欲のある方

(4) 課外活動等にも積極的に参加し、充実した高等学校等の学校生活を送った方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方

(5) 合格した場合は、入学することを確約できる方

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ

医学部【Ⅱ（医学科）】

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す・課さないを問わず）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。

次の各号の全てに該当する方

＊1校から推薦し得る人数に制限はありません。

(1) 令和5年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験する方

(2) 2021年度中又は2022年度中に山梨県内の高等学校を卒業した又は卒業見込みの方

(3) 高等学校における「調査書」の学習成績概評が「Ⓐ」又は「A」である方

＊「Ⓐ」とは、学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる方。この場合、高等学校長は「調査書」の「備考」欄にその理由を明示する必要があります。

(4) 医師免許取得後、15年の期間内で9年間（初期臨床研修及び専門研修期間を含む）、キャリア形成プログラムに基づき、山梨県内の医療機関において診療に従事することを確約できる方

(5) 山梨県医師修学資金貸与制度第二種の利用を確約できる方

(6) 合格した場合は、入学することを確約できる方

＊大学入学共通テスト　本学が指定する教科・科目

令和5年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和5年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

各科目の配点については、37頁を参照してください。

選抜区分	医学部　医学科（学校推薦型選抜Ⅱ）								
共通テストの教科グループ	国	地歴		公民	数①	数②	理①	理②			外
科目名	国	世B	日B	地B	倫政経	数IA	数IIB		物	化	生	英
科目数	1	1			1	1	-	2			1
注意事項	【地歴・公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。 【外　国　語】英語はリスニングも利用します。リーディング(100)+リスニング(100)＝計(200)として合算します。										

山梨県医師修学資金貸与制度

山梨県医師修学資金貸与制度は、将来、山梨県内の公立病院等の医師として従事しようとする医学生に対して、山梨県が修学資金を貸与する制度です。詳細は山梨県のホームページで確認してください。
https://www.pref.yamanashi.jp/imuka/ishikakuho/kakuhojigyo/shugakushikin.html

① 対　　象
医学部医学科入学者

② 貸 与 額
第一種：月額 50,000 円　/　第二種：月額 130,000 円（学校推薦型選抜Ⅱの入学者が優先されます。）

③ 返還免除
次の条件を満たした場合、修学資金及び当該修学資金に付された年 10%の利息（以下「修学資金」という。）の返還は全額免除になります。満たさない場合は、修学資金等全額を一括返還することになります。

(1) 共　　通
・卒業後、2 年以内に医師免許を取得すること。
・医師免許取得後、山梨県内の病院が実施する 2 年間の初期臨床研修を修了すること。

(2) 第 一 種
・医師免許取得後、6 年の期間内に 3 年間、山梨県内の公立病院等において医師の業務に従事すること。（義務年限のうち、山梨県内の病院が実施する臨床研修を修了すること。）

(3) 第 二 種
・医師免許取得後、貸与期間の 2 分の 5 の期間内に、貸与期間の 2 分の 3 の期間（6 年間貸与を受けた場合、15 年の期間内に 9 年間）山梨県地域医療支援センター*1 で調整後に知事が指定する山梨県内の特定公立病院等*2 において診療に従事すること。（義務年限のうち、山梨県内の病院が実施する臨床研修（専門研修を受ける場合は、山梨県内の病院が実施する臨床研修及び専門研修）を修了すること。）

＊1　山梨県地域医療支援センターは、本人のキャリア形成支援と一体的に県内の医師確保を支援するため、医学部附属病院と山梨県が共同で設置している機関です。

＊2　知事が指定する病院はキャリア形成プログラムに基づきキャリア形成等を考慮して決定しますが、一定期間（4 年程度）県内の医師不足地域において医師として従事する必要があります。

④ 留意事項
・修学資金等を一括返還しても、山梨県内で医師として診療に従事する期間は短縮されません。
・学校推薦型選抜Ⅱの入学者は、医師修学資金貸与制度第二種の貸与を受け、医師修学資金貸与制度の規定及びキャリア形成プログラムに基づき、一定期間必ず山梨県内の医療機関において診療に従事しなければなりません。
・学校推薦型選抜Ⅱの入学者は、医師国家試験合格後、山梨県地域枠等医師キャリア形成プログラムに基づく契約を山梨県との間で締結します。県内就業に関する義務違反が確定した場合は、同契約に基づき違約金をお支払いいただきます。
・山梨県医師修学資金貸与制度とは別に、大学在籍中は、継続して山梨県地域枠等医師キャリア形成卒前支援プランに参加していただきます。

⑤ 照 会 先
山梨県 福祉保健部 医務課 医療企画担当（TEL：055-223-1480）

⑥ 申 込 先
医学部キャンパス：医学域学務課学生グループ（TEL：055-273-9346）
甲府キャンパス：学生支援課奨学支援グループ（TEL：055-220-8053・8054）

(3) 総合型選抜Ⅰ

工学部【総合型選抜Ⅰ】

次の各号の全てに該当する方（出願できるのは1学科のみです）

(1) 下表の期間に高等学校又は中等教育学校（後期課程）を卒業した又は卒業見込みの方
(2) 高等学校等の学業成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況等が下表の範囲の方
(3) 志願学科の学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方
(4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

コンピュータ理工学科	2021年度中又は2022年度中に卒業した又は卒業見込みの方 全体の学習成績の状況が4.0以上、又は数学の学習成績の状況が4.2以上 高等学校の普通科を卒業又は同学科に在籍している志願者については、数Ⅱ・数Ⅲ、数B、物理を履修していることが望ましい また、高等学校の専門教育を主とする学科あるいは総合学科卒業又は同学科に在籍している志願者については、これらの科目に関係が深い科目を履修していることが望ましい
応用化学科	2022年度中に卒業見込みの方 数学の学習成績の状況が3.8以上、 かつ化学、化学基礎、物理基礎（に相当する科目）を履修済み又は履修見込みであること 高等学校の普通科に在籍している志願者については、数Ⅱ・数Ⅲ、数B、物理を履修していることが望ましい また、高等学校の専門教育を主とする学科あるいは総合学科に在籍している志願者については、これらの科目に関係が深い科目を履修していることが望ましい

(4) 総合型選抜 II

工学部【総合型選抜 II】

次の各号の全てに該当する方（出願できるのは 1 学科のみです）

(1) 令和 5 年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験する方
(2) 2021 年度中又は 2022 年度中に高等学校又は中等教育学校（後期課程）を卒業した又は卒業見込みの方
(3) 高等学校の学業成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況が下表の範囲の方
(4) 志願学科の学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方
(5) 合格した場合は、入学することを確約できる方

工学 機械工学科	学習成績の状況は問わない 数学Ⅱ、数学 B、数学Ⅲ、物理、物理基礎（に相当する科目）を履修していることが望ましい
工学 メカトロニクス工学科	全体の学習成績の状況が 3.8 以上、又は数学の学習成績の状況が 4.0 以上 数学Ⅱ、数学 B、数学Ⅲ、物理、物理基礎（に相当する科目）を履修していることが望ましい
工学 電気電子工学科	学習成績の状況は問わない 数学Ⅱ、数学 B、数学Ⅲ、物理、物理基礎（に相当する科目）を履修していることが望ましい
工学 コンピュータ理工学科	全体の学習成績の状況が 3.8 以上、又は数学の学習成績の状況が 4.0 以上 数学Ⅱ、数学 B、数学Ⅲ、物理、物理基礎（に相当する科目）を履修していることが望ましい
工学 土木環境工学科	全体の学習成績の状況が 3.8 以上、又は数学の学習成績の状況が 4.0 以上 数学Ⅱ、数学 B、数学Ⅲ、物理、物理基礎、化学基礎（に相当する科目）を履修していることが望ましい
工学 応用化学科	学習成績の状況は問わない。 数学Ⅱ、数学 B、数学Ⅲ、物理、化学、物理基礎、化学基礎（に相当する科目）を履修していることが望ましい
工学 先端材料理工学科	全体の学習成績の状況が 3.8 以上、又は数学の学習成績の状況が 4.0 以上 数学Ⅱ、数学 B、数学Ⅲ、物理、化学、物理基礎、化学基礎（に相当する科目）を履修していることが望ましい

＊大学入学共通テスト　本学が指定する教科・科目

令和 5 年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和 5 年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。
各科目の配点については、43 頁を参照してください。

選抜区分	工学部　機械工学科（総合型選抜 II）																					
共通テストの教科グループ	国	地歴						公民				数①		数②		理①		理②		外		
科目名	国	世A	世B	日A	日B	地A	地B	現社	倫	政経	倫政経		数IA		数IIB			物	化	英		
科目数	1	1										1		1		-		2		1		
注意事項	【地歴・公民】1 科目のところ 2 科目受験した場合は「第 1 解答科目」をその成績とします。 【外　国　語】英語はリスニングも利用します。リーディング(160)+リスニング(40)＝計(200)として合算し、配点（43 頁参照）を満点とした得点に換算します。																					

選抜区分	工学部　メカトロニクス工学科（総合型選抜Ⅱ）							
共通テストの教科グループ	国	地歴	公民	数①	数②	理①	理②	外
科目名	国	世A 世B 日A 日B 地A 地B	現社 倫 政経 倫政経	数ⅠA	数ⅡB		物 化	英 独 仏 中 韓
科目数	1	1		1	1	-	2	1
注意事項	【地歴・公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。 【外　国　語】英語を選択した場合はリスニングも利用します。リーディング(160)+リスニング(40)＝計(200)として合算し、配点（43頁参照）を満点とした得点に換算します。							

選抜区分	工学部　電気電子工学科（総合型選抜Ⅱ）							
共通テストの教科グループ	国	地歴	公民	数①	数②	理①	理②	外
科目名	国			数ⅠA	数ⅡB		物 化	英
科目数	1	-		1	1	-	2	1
注意事項	【外　国　語】英語はリスニングも利用します。リーディング(160)+リスニング(40)＝計(200)として合算し、配点（43頁参照）を満点とした得点に換算します。							

選抜区分		工学部　コンピュータ理工学科（総合型選抜Ⅱ）							
共通テストの教科グループ		国	地歴	公民	数①	数②	理①	理②	外
科目名		国			数ⅠA	数ⅡB		物 化 生	英
科目数	㋐	-	-		1	1	-	-	-
	㋑	-	-		-	-	-	2	-
	㋒	-	-		1	1	-	2	1
	㋓	1	-		1	1	-	-	1
注意事項		＊㋐数学重視型、㋑理科重視型、㋒英数理バランス型、㋓言語力重視型から、少なくとも1つの型に合致するよう科目を選択してください。また、複数の型の選抜対象となり得ます。 【外　国　語】英語はリスニングも利用します。リーディング(160)+リスニング(40)＝計(200)として合算し、配点（43頁参照）を満点とした得点に換算します。							

選抜区分	工学部　土木環境工学科（総合型選抜Ⅱ）							
共通テストの教科グループ	国	地歴	公民	数①	数②	理①	理②	外
科目名	国	世A 世B 日A 日B 地A 地B	現社 倫 政経 倫政経	数ⅠA	数ⅡB		物 化	英 独 仏 中 韓
科目数	1	1		1	1	-	2	1
注意事項	【地歴・公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。 【外　国　語】英語を選択した場合はリスニングも利用します。リーディング(160)+リスニング(40)＝計(200)として合算し、配点（43頁参照）を満点とした得点に換算します。							

選抜区分	工学部　応用化学科（総合型選抜Ⅱ）																			
共通テストの教科グループ	国	地歴						公民				数①		数②		理①		理②		外				
科目名												数ⅠA		数ⅡB				物	化			英		
科目数	-	-										(1)		(1)		-		(1)	1	-	-	(1)		
注意事項	＊化は必須。数ⅠA・数ⅡB・物・英の4科目から、少なくとも2科目を選択してください。 3科目以上を受験した場合は「50点満点に換算した時、得点の高い2科目」を大学側で採用します。 （志願者の選択は要しません。）これに「化学」の得点を加えて合計200点満点に換算します。 【外　国　語】英語はリスニングも利用します。リーディング(160)+リスニング(40)＝計(200)として合算し、配点（43頁参照）を満点とした得点に換算します。																			

選抜区分	工学部　先端材料理工学科（総合型選抜Ⅱ）																							
共通テストの教科グループ	国	地歴						公民				数①		数②		理①		理②		外				
科目名	国	世A	世B	日A	日B	地A	地B	現社	倫	政経	倫政経	数ⅠA		数ⅡB				物	化	英	独	仏	中	韓
科目数	1	1										1		1		-		2		1				
注意事項	【地歴・公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。 【外　国　語】英語を選択した場合はリスニングも利用します。リーディング(160)+リスニング(40)＝計(200)として合算し、配点（43頁参照）を満点とした得点に換算します。																							

生命環境学部【総合型選抜Ⅱ】

次の各号の全てに該当する方（出願できるのは1学科のみです）

(1) 令和5年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験する方
(2) 2023年3月31日までに高等学校又は中等教育学校（後期課程）を卒業した又は卒業見込みの方
(3) 「調査書」の全体の学習成績の状況が3.8以上の方
(4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

＊大学入学共通テスト　本学が指定する教科・科目
令和5年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和5年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。
各科目の配点については、44頁を参照してください。

選抜区分	生命環境学部　生命工学科（総合型選抜Ⅱ）																													
共通テストの教科グループ	国	地歴						公民				数①		数②				理①				理②				外				
科目名	国	世A	世B	日A	日B	地A	地B	現社	倫	政経	倫政経	数Ⅰ	数ⅠA	数Ⅱ	数ⅡB		情					物	化	生		英	独	仏	中	韓
科目数	1	1										1		1				-				2				1				
注意事項	【地歴・公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。 【外　国　語】英語を選択した場合はリスニングも利用します。リーディング(150)+リスニング(50)＝計(200)として合算します。																													

選抜区分	生命環境学部　地域食物科学科（総合型選抜Ⅱ）																													
共通テストの教科グループ	国	地歴						公民				数①		数②				理①				理②				外				
科目名	国	世A	世B	日A	日B	地A	地B	現社	倫	政経	倫政経	数Ⅰ	数ⅠA	数Ⅱ	数ⅡB	簿	情					物	化	生		英	独	仏	中	韓
科目数	1	1										1		1				-				2				1				
注意事項	【地歴・公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。 【外　国　語】英語を選択した場合はリスニングも利用します。リーディング(150)+リスニング(50)＝計(200)として合算します。																													

選抜区分	生命環境学部　環境科学科（総合型選抜Ⅱ）																													
共通テストの教科グループ	国	地歴						公民				数①		数②				理①				理②				外				
科目名	国	世A	世B	日A	日B	地A	地B	現社	倫	政経	倫政経	数Ⅰ	数ⅠA	数Ⅱ	数ⅡB	簿	情					物	化	生	地	英	独	仏	中	韓
科目数	1	1										1		1				-				2				1				
注意事項	【地歴・公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。 【外　国　語】英語を選択した場合はリスニングも利用します。リーディング(150)+リスニング(50)＝計(200)として合算します。																													

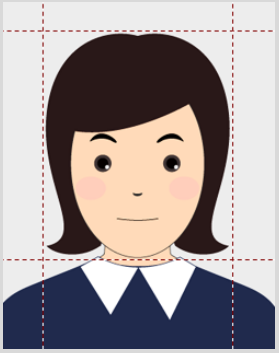
選抜区分	生命環境学部　地域社会システム学科（総合型選抜Ⅱ）																													
共通テストの教科グループ	国	地歴						公民				数①		数②				理①				理②				外				
科目名	国	世A	世B	日A	日B	地A	地B	現社	倫	政経	倫政経	数Ⅰ	数ⅠA	数Ⅱ	数ⅡB	簿	情	物基	化基	生基	地基	物	化	生	地	英	独	仏	中	韓
科目数	1	(1)						(1)				1		1				([2]又は[0])				([1]又は[2])				1				
注意事項	＊( )は選択科目です。地歴・公民・理の3教科から2科目を選択してください。3科目以上を受験した場合は「得点の高い2科目」をその成績とします。 【地歴・公民】同一教科で2科目受験した場合は「得点の高い科目」をその成績とします。 【理①・理②】理①は2科目で1科目とみなします。なお、同一名称を含む科目（物基と物 等）を選択することを認めます。 【外　国　語】英語を選択した場合はリスニングも利用します。リーディング(150)+リスニング(50)＝計(200)として合算します。																													

5. 出願手続

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 の全てを完了してください。いずれか１つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

①　事前準備（用意するもの）

- インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等
- PDF を開くためのアプリケーション（アドビ社の Adobe Reader を推奨）
- A4 サイズの印刷が可能なプリンター
  自宅にプリンターがない場合は、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- 「@yamanashi.ac.jp」からの受信が可能なメールアドレス
- 出願期間前に準備できる出願書類
- 市販の角形 2 号封筒（24 ㎝×33.2 ㎝）
- 顔写真の JPEG ファイル（3 ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、無背景、フルカラー、縦横比 4：3、縦 800px×横 600px 以上、ファイルサイズ 3MB 以内のもの）



（良い顔写真の例）

②　メールアドレスの登録

Web 出願サイト（https://syutugan.yamanashi.ac.jp）にアクセスし、「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにメールが届きますので、本文の案内に従い 30 分以内に次の手順に進んでください。

③　利用者情報の登録（いつでも登録できます）

画面の案内に従って個人情報を常用漢字（JIS 第 1 水準・第 2 水準）で登録してください。
出願から入学までの間、本学からの通知を志願者本人が確実に受信できる連絡先（メールアドレス、住所、電話番号等）を登録してください。出願後に変更が生じた場合は、速やかに入試課へ連絡してください。

④　出願情報の登録（出願期間中のみ登録できます）

Web 出願サイト＞マイページ＞新規出願から、画面の案内に従い登録してください。

⑤　入学検定料の支払い

Web 出願サイト＞マイページ＞検定料の支払いから、画面の案内に従いお支払いください。

⑥　出願書類の提出

出願書類を作成・印刷し、原則、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で入試課へ郵送してください。

⑦　出願の受理

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の発行通知をお待ちください。

＊出願に関する留意事項

- 出願内容（Web 出願情報・出願書類等）に不備がある場合は受理しないことがあります。
- 出願内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願内容の変更は認めません。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願書類の返却はできません。

(1) 出願期間

総Ⅰ **（工学部）**

2022 年 9 月 29 日（木）～ 2022 年 10 月 7 日（金）16 時 30 分【必着】

推Ⅰ **総Ⅱ** **（教育学部・医学部看護学科・工学部・生命環境学部）**

2022 年 11 月 1 日（火）～ 2022 年 11 月 9 日（水）16 時 30 分【必着】

推Ⅱ **（医学部医学科）**

2022 年 12 月 14 日（水）～ 2022 年 12 月 22 日（木）16 時 30 分【必着】

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 の全てを完了してください。いずれか 1 つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

(2) 入学検定料の支払い

入学検定料：17,000 円

- Web 出願サイトの「検定料の支払い」で、①～④から支払方法を選択しお支払いください。
  ①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関 ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング
- クレジットカード以外の支払方法は入金確認に 2 時間程度かかります。（入金が確認されないと次の出願書類の印刷に進むことができませんので注意してください。）
- 全ての支払方法において手数料は志願者負担になります。
- 海外からの支払方法はクレジットカードのみです。
- 出願受理後はいかなる理由があっても既納の入学検定料は返還できません。

＊入学検定料の免除

- 対 象 者…… 次の災害に被災された方に対し、入学検定料免除の特別措置を行います。

  東日本大震災、平成 28 年熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨、平成 30 年北海道胆振東部地震、令和元年台風第 15 号及び第 19 号、令和 2 年 4 月以降に発生した災害救助法の適用となる災害
- 必要書類 …… ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787）を確認してください。
- 受付期間 …… 出願期間開始日の 1 ヶ月前～出願期間開始日の前日
- 照 会 先 …… 入 試 課 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37 TEL：055-220-8046

＊入学検定料の返還

- 対 象 者…… 次の方に限って、入学検定料を返還します。
  - ・出願が受理されなかった方には、入学検定料を返還します。
  - ・出願受理後に、大学入学共通テストの科目不足等により、出願無資格者であることが判明した方には、入学検定料のうち 13,000 円を返還します。
  - ・学校推薦型選抜Ⅱの第 1 段階選抜不合格者には、入学検定料のうち 13,000 円を返還します。（総合型選抜Ⅱの第 1 段階選抜不合格者には、入学検定料は返還しません。）
- 請求方法 …… 対象者に別途通知します。

(3) 出願書類

【学校推薦型選抜・総合型選抜】出願期間中に提出する書類

☆の様式はホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291）からダウンロードできます。

出願書類	摘　　要（原則 A4 サイズで提出すること）
調査書	【全員】 ・学校長等が文部科学省所定の様式により作成し、学校長等の職印及び記載責任者の印を押印の上、厳封したもの ・複数枚の場合は、左上をホッチキス止めすること ＊発行年月 ・医学 推Ⅰ・推Ⅱ は、2022 年 10 月 1 日以降に作成したもの ・上記以外の学部・選抜は、発行年月は問わない ＊備考欄 ・医学 推Ⅱ は、学習成績概評をⒶとした場合、その理由を記載すること ・工学 総Ⅰ（応用化学科）は、物理基礎、化学基礎、化学の代替科目又は対応科目を記載すること（対応科目表等の資料を添付してもよい） ＊調査書が提出できない場合 ・保存年限の超過、廃校、被災、その他の事情により調査書が提出できない場合は、①卒業証明書 及び ②成績証明書又は単位取得証明書を提出すること ・上記①又は②が提出できない場合は、学校長が作成した証明書が発行できない旨の理由書を提出すること
☆学校長推薦書	教育 推Ⅰ　医学 推Ⅰ・推Ⅱ ・学校長等が本学所定の様式により作成し、厳封したもの ・教育学部と医学部で様式が異なるので注意すること
☆志願者評価書	工学 総Ⅰ（コンピュータ理工学科） 工学 総Ⅱ（メカトロニクス工学科、土木環境工学科、先端材料理工学科） 生命 総Ⅱ ・学校長等が本学所定の様式により作成し、厳封したもの
☆多面的・総合的な評価のための申告書	【全員】 ・本学所定の様式により志願者が作成したもの
指定した楽譜	教育 推Ⅰ（芸術身体教育コース 音楽教育系） ・詳細は「実技検査の内容・注意事項」（35 頁）を確認すること ・1 枚目の左上に氏名、曲名、楽器名（声楽選択者は「声楽」）を記載すること
☆活動実績報告書及び証明書類	教育 推Ⅰ（芸術身体教育コース 保健体育系） ・作成要領に基づき、本学所定の様式により作成すること
☆誓約書	医学 推Ⅱ ・志願者及び保護者が自筆で作成すること
大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙	医学 推Ⅱ ・Web 出願サイト＞マイページ＞出願書類印刷から印刷した様式に「令和 5 共通テスト成績請求票　国公立推薦型選抜用」を貼付したもの ・再発行した場合は、再発行した成績請求票を使用すること
化学グランプリ一次選考結果通知	工学 総Ⅰ（応用化学科） ・「化学グランプリの一次選考の成績」による選抜希望者のみ提出すること ・化学グランプリ・オリンピック委員会から送付されたものの写し ・化学グランプリ 2020・2021・2022 の成績は利用できません
住民票	【国籍が日本国以外の方】 ・住居地の市区町村長が交付する在留資格及び在留期間が記載されたもの
戸籍抄本	【改姓により証明書等の氏名が異なる方】 ・住居地の市区町村長が交付するもの

【総合型選抜Ⅱ】出願期間後に提出する書類

☆の様式はホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291）からダウンロードできます。

提出書類	摘　　要（原則 A4 サイズで提出すること）
大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙	工学 生命 総Ⅱ（第 1 段階選抜合格者） ・Web 出願サイト＞マイページ＞出願書類印刷から印刷した様式に「令和 5 共通テスト成績請求票　国公立総合型選抜用」を貼付したもの ・再発行した場合は、再発行した成績請求票を使用すること ＊提出期間 2022 年 12 月 14 日（水）～ 2022 年 12 月 22 日（木）16 時 30 分【必着】 ・期間内に成績請求票の提出をしなかった者は、選抜の対象とはなりません。 ・工学 生命 総Ⅱ の第 1 段階選抜の不合格者が成績請求票を提出しても、最終選抜の対象とはなりません。 ＊提出方法 ① Web 出願サイト＞マイページ＞共通テスト受験番号登録から、画面の案内に従って成績請求票に記載されている番号を登録してください。 ② 登録完了画面から様式を印刷し、成績請求票を貼付してください。 ③ 長形 3 号封筒に「成績請求票在中」と朱書きの上、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で入試課へ郵送してください。
☆面接用事前レポート	工学 総Ⅱ（機械工学科） ・面接用事前レポートの「課題と作成要領」は出願期間最終日から約 3 日後までに発送します。レポートは本学ホームページから【面接用事前レポート☆】をダウンロードして作成してください。
プレゼンテーション資料	工学 総Ⅱ（機械工学科） ・本学ホームページにある【面接の注意事項☆】に基づき、面接でのプレゼンテーション資料を電子ファイル又は紙媒体で作成してください。（様式は任意）

【学校推薦型選抜・総合型選抜】出願書類一覧表

◎ 全員提出、○ 一部学科・コース等のみ提出、△ 該当者のみ提出、☆ 出願期間後に別途提出、－ 提出不要

学部	選抜区分	調査書	学校長推薦書	志願者評価書	多面的・総合的な評価のための申告書	指定した楽譜	活動実績報告書	誓約書	大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙	化学グランプリの一次選考の成績	住民票	戸籍抄本	面接用事前レポート	プレゼンテーション資料
教育	推Ⅰ	◎	◎	－	◎	○	○	－	－	－	△	△	－	－
医学	推Ⅰ	◎	◎	－	◎	－	－	－	－	－	△	△	－	－
医学	推Ⅱ	◎	◎	－	◎	－	－	◎	◎	－	△	△	－	－
工学	総Ⅰ	◎	－	○	◎	－	－	－	－	△	△	△	－	－
工学	総Ⅱ	◎	－	○	◎	－	－	－	☆	－	△	△	☆*	☆*
生命	総Ⅱ	◎	－	◎	◎	－	－	－	☆	－	△	△	－	－

＊機械工学科のみ

＊出願書類の作成方法

- 作成方法は、自筆の指定がない場合は、自筆・パソコンを問いません。
- 自筆の場合は、ボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、楷書で記入の上、原本（写しは不可）を提出してください。また、訂正する場合は、修正液等の使用や紙面の削り取りはせず、訂正する箇所に二本線を引き訂正印を押してください。
- 文字色は黒色とします。数字は原則算用数字を用いてください。

＊多面的・総合的な評価のための申告書

本申告書は、志願者に関する多面的な情報が提供されることを目的としていると同時に、志願者が大学で学ぶ理由を見つめ直し、自らの進路について主体的に考える機会を増やすことで、大学での学修意欲を高めるために課すものです。

- 様式は本学ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291）からダウンロードしてください。
- 必ず志願者本人が作成してください。図表等を用いても構いません。
- 他の出願書類と整合性が保たれている内容を記入してください。
  （虚偽の記載が判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。）
- 各項目の記載内容に補足・補完する程度の重複があっても構いません。
- 本学所定の様式に収まるように記入してください。

(4) 出願書類の提出方法

① Web 出願サイト＞マイページ＞出願書類印刷から印刷した「出願書類等チェックリスト（提出不要）」で、出願書類が全て揃っているか最終確認してください。
② Web 出願サイト＞マイページ＞出願書類印刷から印刷した「封筒貼付票」を市販の角形 2 号封筒に貼付の上、出願書類を封入してください。
③ 志願者ごとの封筒を（1 名のみの場合でも）学校で取りまとめ、別封筒にまとめて封入してください。
④ 志願者リスト（様式任意：学校名、志願者氏名、志願先（学科・コース等）を記載したもの）を作成し、同封してください。
⑤ 別封筒の表に「○○学部 ○○型選抜○ ○名願書在中（例：教育学部 学校推薦型選抜Ⅰ 5 名願書在中）」と朱書きし、出願期間内に本学へ到着するよう、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。
（入 試 課　〒400-8510　山梨県甲府市武田 4-4-37　TEL：055-220-8046）

＊郵送では間に合わない場合

出願最終日の 9:00～12:00【厳守】に限り、入試課窓口において出願書類の持参を受け付けます。
（この日時以外に持参しても、出願書類を受け取ることはできません。）

6. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

① 対 象 者

病気・負傷や障がい等のある志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方

（受験上の配慮を必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする方は必ず申請してください。）

② 相談方法

受付期間に入試課に連絡の上、必要書類を提出してください。

③ 必要書類

- 次の事項を記載した相談申請書（様式任意）

  氏名、志望学部・学科等、選抜区分、学校名、受験上及び修学上の配慮を希望する事項・内容、高等学校等でとられていた特別措置、日常生活の状況、連絡先（住所・電話番号等）

- 医師の診断書等（病気・負傷や障がい等の状況がわかる文書、写し可）
- 大学入試センターの「受験上の配慮事項決定通知書」がある方はその写し

④ 受付期間

出願期間開始日の 1 ヶ月前～出願期間開始日の前日

⑤ 照 会 先

入 試 課　〒400-8510　山梨県甲府市武田 4-4-37　TEL：055-220-8046

⑥ 注意事項

- 日常生活において使用している補聴器・松葉杖・車椅子等の使用を希望する方や、病気・負傷や障がい等によりマスクの着用が困難な方は、必ず申請してください。
- 相談内容によっては対応に時間を要しますので、できるだけ早い時期に申請してください。
- 必要に応じて、志願者又はその立場を代弁し得る関係者と面談を行う場合があります。
- 受付期間以降に不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮が必要となった場合や、申請後に出願又は受験を取り止める場合は、入試課へ連絡してください。

7. 受験票

本学からの受験票の送付はありません。

受験票は Web 出願サイトから印刷し、試験当日に必ず持参してください。

【印刷可能通知】出願期間終了日から 3 日後（土日祝日の場合、直後の平日）までに通知

【印刷可能期間】通知の受信日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日まで

【印 刷 方 法】Web 出願サイト>マイページ>受験票から印刷

- 上記期日までに Web 出願サイトから受験票の印刷が可能になった旨をメールで通知します。
- 上記期日を過ぎても受験票が印刷できない場合は、入試課へ照会してください。
- 受験票の印刷方法は白色の A4 用紙、倍率 100%、カラー印刷とします。
- 受験票には Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 受験票を紛失・汚損等した場合は、Web 出願サイトから再度印刷してください。

8. 選抜方法

(1) 選抜方法の概要

学部	課程・学科・コース・系		共通テスト	個別学力検査	実技検査等				2段階選抜	備考
					実技	小論文	面接	その他		
学校推薦型選抜Ⅰ										
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	-	-	-	○	○	-	-	＊5
		障害児教育コース	-	-	-	○	○	-	-	
		言語教育コース 国語教育系	-	-	-	○	○	-	-	
		言語教育コース 英語教育系	-	-	-	○	○	-	-	
		生活社会教育コース 社会科教育系	-	-	-	○	○	-	-	
		生活社会教育コース 家政教育系	-	-	-	○	○	-	-	
		科学教育コース 数学教育系	-	-	-	○	○	-	-	
		科学教育コース 理科教育系	-	-	-	○	○	-	-	
		科学教育コース 技術教育系	-	-	-	○＊1	○＊1	口頭試問＊1	-	
		芸術身体教育コース 音楽教育系	-	-	○	-	○	-	-	
		芸術身体教育コース 美術教育系	-	-	○	-	○	-	-	
		芸術身体教育コース 保健体育系	-	-	○＊2	-	○	-	-	
		山梨県小学校教員養成特別教育プログラム	-	-	-	○	○	-	-	
医学部	看護学科		-	-	-	○	○	-	-	
学校推薦型選抜Ⅱ										
医学部	医学科		○	-	-	-	○	-	○（約1.5倍）	＊5
総合型選抜Ⅰ										
工学部	コンピュータ理工学科		-	-	-	○	○	-	-	＊5
	応用化学科		-	-	○	-	○	＊3	-	
総合型選抜Ⅱ										
工学部	機械工学科		○	-	-	-	○	-	○	＊5
	メカトロニクス工学科		○	-	-	○	○	-	○	
	電気電子工学科		○	-	-	○	○	-	○	
	コンピュータ理工学科		○	-	-	-	-	-	○	
	土木環境工学科		○	-	-	○	○	-	○	
	応用化学科		○	-	-	-	○＊4	-	○	
	先端材料理工学科		○	-	-	○	○	-	○	
生命環境学部	生命工学科		○	-	-	-	○	-	○	
	地域食物科学科		○	-	-	-	○	-	○	
	環境科学科		○	-	-	-	○	-	○	
	地域社会システム学科		○	-	-	-	○	-	○	

＊1　技術教育系は、Ⅰ(A) 教科別推薦入試では面接と小論文、Ⅰ(B) 専門・総合学科推薦入試では口頭試問を課します。
＊2　保健体育系は、活動実績報告書とその証明書類の提出をもって実技検査とします。
＊3　応用化学科は、口頭試問 又は 化学グランプリの一次選考の成績により選抜します。（化学グランプリ 2020、2021 及び 2022 の成績は利用できません。）
＊4　応用化学科の総合型選抜Ⅰの受験者は、面接を免除する場合があります。
＊5　欠員が生じた場合、一般選抜で補充します。

(2) 教育学部・医学部【学校推薦型選抜Ⅰ】

① 選抜方法・合否判定基準

教育学部【Ⅰ(A 教科別推薦入試)】

幼小発達教育コース		小論文、面接、実技検査等の結果や、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」、「活動実績報告書（芸術身体教育コース 保健体育系のみ)」の記載内容を総合して判定します。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、面接の得点が高い者を上位とします。
障害児教育コース		
言語教育コース	国語教育系	
	英語教育系	
生活社会教育コース	社会科教育系	
	家政教育系	
科学教育コース	数学教育系	
	理科教育系	
	技術教育系	
芸術身体教育コース	音楽教育系	
	美術教育系	
	保健体育系	

教育学部【Ⅰ(B 専門・総合学科推薦入試)】

生活社会教育コース	家政教育系	小論文、面接の結果や、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を総合して判定します。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、面接の得点が高い者を上位とします。
科学教育コース	技術教育系	口頭試問の結果や、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を総合して判定します。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、口頭試問の得点が高い者を上位とします。

教育学部【Ⅰ(C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試)】

山梨県小学校教員養成 特別教育プログラム	小論文、面接の結果や、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を総合して判定します。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、面接の得点が高い者を上位とします。

医学部【Ⅰ(看護学科)】

看　護　学　科	小論文、面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」を総合して判定します。評価の基準及び同点者の取扱いについては、入試の適正な実施に支障が生じかねないという観点から非公表とします。

② 選抜期日・場所

期日：2022 年 11 月 19 日（土）

場所：教育 山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田 4-4-37）

場所：医学 山梨大学医学部キャンパス（山梨県中央市下河東 1110）

教育学部【Ⅰ(A 教科別推薦入試)】

コース	集合時刻	集合場所	検査
幼小発達 教育コース	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接
障害児 教育コース	9:30	甲府西キャンパス L号館C棟 2階 LC-27	小論文・面接
言語 教育コース 【国語教育系・英語教育系】	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接
生活社会 教育コース 【社会科教育系・家政教育系】	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接
科学 教育コース 【数学教育系・理科教育系・技術教育系】	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接
芸術身体 教育コース 【音楽教育系・美術教育系・保健体育系】	9:30	甲府西キャンパス L号館C棟 1階 LC-17	実技・面接

＊試験終了時刻は受験者数により変わります。

教育学部【Ⅰ(B 専門・総合学科推薦入試)】

コース	集合時刻	集合場所	検査
生活社会 教育コース 【家政教育系】	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接
科学 教育コース 【技術教育系】	12:00	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	口頭試問

＊試験終了時刻は受験者数により変わります。

教育学部【Ⅰ(C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試)】

プログラム	集合時刻	集合場所	検査
山梨県小学校教員養成 特別教育プログラム	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接

＊試験終了時刻は受験者数により変わります。

医学部【Ⅰ(看護学科)】

学科	集合時刻	集合場所	検査
看護学科	8:40	医学部キャンパス 看護学科教育研究棟	小論文・面接

＊試験終了時刻は受験者数により変わります。

③ 検査内容

教育学部【Ⅰ(A 教科別推薦入試)】

コース	検査	検査内容、出題範囲、評価基準等
幼小発達 教育コース	小論文	教育や児童・生徒の発達過程に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面接	コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲・適性等を総合的に評価します。
障害児 教育コース	小論文	子どもの発達や学校教育などに関する事項について出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面接	自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。
言語 教育コース 【国語教育系・英語教育系】	小論文	言語や教育に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面接	コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲・適性等を総合的に評価します。なお、国語教育系の志望者に英語教育について質問したり、英語教育系の志望者に国語教育について質問したりすることはありません。
生活社会 教育コース 【社会科教育系・家政教育系】	小論文	社会科教育系では私たちの社会と教育に関わる論題を、家政教育系では家庭生活と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面接	コース・系の教育活動に対する理解や、教職への意欲・適性等を総合的に評価します。
科学 教育コース 【数学教育系・理科教育系・技術教育系】	小論文	科学(数学または理科または技術)と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面接	コース・系の教育活動に対する理解、入学後の教育研究に対する意欲や教科(数学または理科または技術)に関する資質・能力等を総合的に評価します。
芸術身体 教育コース 【音楽教育系・美術教育系・保健体育系】	実技	志望する系に応じて音楽実技、美術実技、体育実技のいずれかを課し、志望する系での学習の前提となる知識・技能等を総合的に評価します。 (詳細は別表「実技検査の内容・注意事項」(35〜36 頁)を参照)
	面接	志望する系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲・適性等を総合的に評価します。

教育学部【Ⅰ(B 専門・総合学科推薦入試)】

コース	検査	検査内容
生活社会 教育コース 【家政教育系】	小論文	家庭生活と教育に関わる論題を出題し、系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面接	系の教育活動に対する理解や、高等学校での家庭科に関する学習、教職への意欲・適性等を総合的に評価します。
科学 教育コース 【技術教育系】	口頭試問	コース・系での学習の前提となる知識・技能・思考力・判断力・表現力を有しているかを判定するための学力評価(英語・数学・理科・課題研究に関する内容を含む)を行うとともに、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲・適性等を総合的に評価します。

教育学部【Ⅰ(C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試)】

プログラム	検　査	検査内容
山梨県小学校教員養成特別教育プログラム	小論文	小学校教育や児童の発達過程に関わる論題を出題し、プログラムでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面　接	山梨県の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲・適性等を総合的に評価します。

医学部【Ⅰ(看護学科)】

学　科	検　査	検査内容
看護学科	小論文	バランスのとれた判断力・論理的構想力・表現力等を総合的に評価します。
	面　接	人間性豊かな看護職及び創造性に富んだ看護学研究者となるにふさわしい情操・創造性・適応性等を総合的に評価します。

教育学部【Ⅰ(A 教科別推薦入試)】実技検査の内容・注意事項

(実技検査の内容に関する問い合わせには応じられません。)

検　査	検査内容・注意事項
音楽教育系 (音楽実技)	下記の①、②を受験すること。 ①　共通課題(音楽基礎能力試験)… 下記のA～Dを受験すること。 A　旋律聴音　1題(12～16小節) B　新曲視唱　1題(練習時間5分程度) ・移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 C　コンコーネ50番 ・No.28～No.48より当日1、2曲を指定する。楽譜を見てもよい。 ・移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。高、中、低声用いずれでもよい。 D　ピアノ ・任意の楽曲を1曲演奏すること。(暗譜すること。繰り返しは省略すること。) ・②の選択課題をピアノで受験する方は、Dは不要。 ②　選択課題(演奏実技) ・任意の器楽曲、又は声楽曲を演奏すること。 ・全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。 ・演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでもよい。 1　ピアノで受験の場合 (1) 1曲又は数曲を演奏すること(10分程度)。 (2) 出願時に演奏曲の楽譜(左上に「ピアノ」と明記)を同封すること。 2　声楽で受験の場合 (1) 日本歌曲を含む2曲を演奏すること。外国語は原語で演奏すること。 (2) 出願時に演奏曲の楽譜(ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏部を伴った楽譜(左上に「声楽」と明記))を同封すること。 3　ピアノ以外の楽器で受験の場合 (1) 1曲又は数曲を演奏すること(5分～10分程度) (2) 電子オルガン(YAMAHA、ELS－01C バイタライズユニット Ver.up 済み)以外の楽器は各自持参すること。なお、自動伴奏機能は使わないこと。 (3) 出願時に演奏曲の楽譜(左上に曲名及び楽器名を明記)を同封すること。 (4) 伴奏はなしとする。

美術教育系 （美術実技）	造形表現力の検査 … 形態、色彩、構成力等に関する考査を 200 分で行う。 ・透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。なお、B3 画用ボード、イーゼルは本学で用意する。
保健体育系 （体育実技）	高等学校在籍時の各種大会参加等の活動実績について、「活動実績報告書」と「活動実績報告書証明書類」を用いて実技検査とする。

④ 配　　点

配点については非公表とします。

(3) 医学部【学校推薦型選抜Ⅱ】

① 選抜方法・合否判定基準

2段階選抜により合格者を決定します。

(1) 第1段階選抜
志願者が募集人員の約1.5倍を超えた場合に実施し、大学入学共通テストの成績、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」を総合して判定します。

(2) 最終選抜
第1段階選抜の合格者について、大学入学共通テストの成績、面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」を総合して判定します。評価の基準及び同点者の取扱いについては、入試の適正な実施に支障が生じかねないという観点から非公表とします。

② 選抜期日・場所（最終選抜）

期日：2023年2月10日（金）

場所：山梨大学医学部キャンパス（山梨県中央市下河東1110）

学　科	集合時刻	集合場所	検　査
医　学　科	別途連絡	医学部キャンパス 看護学科教育研究棟	面　接

＊集合時刻は出願受理後に別途連絡します。また、試験終了時刻は受験者数により変わります。

③ 検査内容

学　科	検　査	検査内容
医　学　科	面　接	人間性豊かな医師及び創造性に富んだ医学研究者となるにふさわしい情操・創造性・適応性等を総合的に判定します。また、将来山梨県内で診療に従事する理由・意欲等もみます。

④ 配　点

学　科	選抜段階	大学入学共通テスト						
		国	地歴	公民	数	理	外	計
医　学　科	1次	200	100		200	200	200	900
	最終	200	100		200	200	200	900

＊面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の配点については非公表とします。

(4) 工学部【総合型選抜Ⅰ】

① 選抜方法・合否判定基準

コンピュータ理工学科	小論文、面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」を総合して判定します。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
応　用　化　学　科	「調査書」、面接、「多面的・総合的な評価のための申告書」、化学に関する口頭試問あるいは化学グランプリの成績、ならびに化学実験に関する試問による結果を総合して判定します。合格ライン上に総合評価点が同点の者がいる場合は、同点者すべてを合格者とします。ただし、「多面的・総合的な評価のための申告書」または面接の評価が合格判定基準を満たしていない者は不合格とします。 「調査書」では、本学科における修学が可能な基礎学力を備えるかを評価すると同時に面接の資料とします。面接では、目的意識、勉学意欲、論理的思考力などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、化学に対する強い興味と特に化学を専攻する希望を持つかを評価します。化学に関する口頭試問あるいは化学グランプリの成績（＊）、ならびに化学実験に関する試問により、化学に関する基礎知識ならびに化学実験に関する知識・技術や興味を評価します。 （＊）化学グランプリ 2020、2021 及び 2022 の一次選考の成績は利用できません。

② 選抜期日・場所

期日：2022 年 10 月 22 日（土）

場所：山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田 4-4-37）

学　　科	集合時刻	集合場所	検　　査
コンピュータ理工学科	9:00	甲府東キャンパス A-2 号館　A2-21	小論文・面接
応　用　化　学　科	9:00	甲府西キャンパス 総合研究棟　1 階ロビー	実技・面接

＊試験終了時刻は受験者数により変わります。

③ 検査内容

学　　科	検　　査	検　　査
コンピュータ理工学科	小 論 文	数学・物理・英語の基礎学力に関する内容を出題します。
	面　　接	回答の明確さ、論理の正しさ、意欲、独自性を総合的に評価します。
応　用　化　学　科	面　　接	目的意識、勉学意欲、論理的思考力を総合的に判定します。
	実　　技	化学実験に関する口頭試問を含みます。化学に関する基本的な器具やその使用法、実験の手順など化学実験に関する知識・技能・興味を総合的に評価します。
	選択課題	化学に関する基礎知識、化学実験に関する知識・技能・興味を総合的に評価します。「化学に関する口頭試問（面接と同時に実施）」又は「化学グランプリの一次選考の成績*」から、いずれか又は両方（優先順位を選択すること）を出願時に選択してください。

＊化学グランプリ 2020、2021 及び 2022 の成績は利用できません。

④ 配　　点

学　　科	実技	小論文	面接	選択課題	その他	合計
コンピュータ理工学科	-	300	90	-	80	470
	【その他】「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」を評価します。					
応　用　化　学　科	50	-	適否	50	20	120
	【選択課題】化学に関する口頭試問又は化学グランプリの成績を評価します。 【その他】「調査書」(20)、「多面的・総合的な評価のための申告書」(適否)を評価します。					

(5) 工学部・生命環境学部【総合型選抜 II】

① 選抜方法・合否判定基準

工学 機械工学科	第1段階選抜	面接・出願書類を総合して判定します。
	最終選抜	第1段階選抜合格者の中から、第1段階選抜・大学入学共通テストの得点を総合して判定します。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
工学 メカトロニクス工学科	第1段階選抜	小論文・面接・出願書類を総合して判定します。ただし、小論文・面接・出願書類の評価が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。総得点が同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位者とします。なお同点者がいる場合は、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
	最終選抜	第1段階選抜合格者の中から、第1段階選抜・大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、第1段階選抜・大学入学共通テストの得点が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。総得点が同点の場合は、大学入学共通テストの得点が高い者を上位者とします。なお同点者がいる場合は、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
工学 電気電子工学科	第1段階選抜	小論文・面接・出願書類を総合して判定します。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
	最終選抜	第 1 段階選抜合格者のうち、大学入学共通テストの得点が合格判定基準を満たす者の中から、第1段階選抜の得点により判定します。総得点が同点の場合は、大学入学共通テストの得点が高い者を上位者とします。なお同点者がいる場合は、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
工学 コンピュータ理工学科	第1段階選抜	出願書類により判定します。ただし、出願書類の評価が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。
	最終選抜	第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの得点により判定します。ただし、大学入学共通テストの得点が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
工学 土木環境工学科	第1段階選抜	小論文・面接・出願書類を総合して判定します。ただし、総得点が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
	最終選抜	第1段階選抜合格者の中から、第1段階選抜・大学入学共通テストの得点を総合して判定します。総得点が同点の場合は、第1段階選抜の得点が高い者を上位者とします。なお同点者がいる場合は、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
工学 応用化学科	第1段階選抜	面接・「調査書」を総合して判定します。ただし、面接・「調査書」の評価が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。総合型選抜 I の受験者は面接を免除する場合があります。
	最終選抜	第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの得点、「多面的・総合的な評価のための申告書」を総合して判定します。ただし、大学入学共通テストの化学の得点が、大学入試センターが公表する平均点未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
工学 先端材料理工学科	第1段階選抜	小論文・面接・「調査書」を総合して判定します。ただし、面接・「調査書」の評価が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
	最終選抜	第1段階選抜合格者の中から、第1段階選抜・大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、大学入学共通テストの得点が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。総得点が同点の場合は、大学入学共通テストの評価が高い者を上位者とします。なお同点者がいる場合は、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
生命 生命工学科 地域食物科学科 環境科学科 地域社会システム学科	第1段階選抜	面接、「調査書」、「志願者評価書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」を総合して判定します。ただし、面接、「調査書」、「志願者評価書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。
	最終選抜	第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの得点、面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」を総合して判定します。ただし、総得点が著しく低い場合は不合格になることがあります。

② 選抜期日・場所

期日：2022 年 11 月 19 日（土）

場所：山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田 4-4-37）

学　科	集合時刻	集合場所	検　査
工学（第 1 段階選抜） 機 械 工 学 科	9:00	甲府東キャンパス A-2 号館　A2-12	面　接
工学（第 1 段階選抜） メカトロニクス工学科	9:00	甲府東キャンパス T-1 号館　T1-22	小論文・面接
工学（第 1 段階選抜） 電 気 電 子 工 学 科	9:00	甲府東キャンパス B-2 号館　B2-11	小論文・面接
工学（第 1 段階選抜） コンピュータ理工学科	－	－	（来学の必要はありません。）
工学（第 1 段階選抜） 土 木 環 境 工 学 科	9:00	甲府東キャンパス T-1 号館　T1-11	小論文・面接
工学（第 1 段階選抜） 応 用 化 学 科	9:00	甲府西キャンパス 総合研究棟　1 階ロビー	面　接 （応用化学科の総合型選抜 I の受験者は検査を免除する場合があります。面接免除の通知は、11 月 16 日(水)までに郵送でお知らせします。）
工学（第 1 段階選抜） 先 端 材 料 理 工 学 科	9:00	甲府東キャンパス T-1 号館　T1-32	小論文・面接
生命（第 1 段階選抜） 生 命 工 学 科 地 域 食 物 科 学 科 環 境 科 学 科 地域社会システム学科	9:00	甲府西キャンパス S1 号館	面　接

＊試験終了時刻は受験者数により変わります。

③ 検査内容

学　科	検　査	検査内容
工学 機械工学科	面　接	「多面的・総合的な評価のための申告書」、面接用事前レポートを参考に、プレゼンテーション及び質疑応答を通じて、発表における説明力、論理性、受け答えの的確性を総合的に評価します。
工学 メカトロニクス工学科	小論文	科学・技術に関する内容を出題し、論理的思考を評価します。
	面　接	「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」を参考に、論理的思考、回答の明確さ・正確さ（コミュニケーション能力）、意欲・適性を総合的に評価します。
工学 電気電子工学科	小論文	電気電子工学に関する内容を出題します。
	面　接	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」を参考に、数学・物理の基礎学力、論理的な説明力、人物像、適性を総合的に評価します。
工学 コンピュータ理工学科	書　類	「調査書」により、基礎的学力を備えているかを判定するとともに、課外活動や取得した資格等により向上心や主体性等を評価します。 「多面的・総合的な評価のための申告書」により、アドミッションポリシーへの理解、向上心、主体性、協働性等を重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や将来への展望が明確であるかを評価します。
工学 土木環境工学科	小論文	科学・技術に関する講義を行い、その内容に関する内容を出題します。
	面　接	「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」を参考に、志望動機、学習意欲、適性を総合的に評価します。
工学 応用化学科	面　接	志望動機、適性を評価します。応用化学科の総合型選抜Ⅰの受験者は、面接を免除する場合があります。
工学 先端材料理工学科	小論文	数学、物理、化学、英語の素養に関する内容を出題します。
	面　接	志望動機・学習意欲及び適性等を総合的に評価します。
生命 生命工学科	面　接	口頭試問を含みます。生命工学を総合的に学ぶための目的意識・適性・基礎知識、応答の的確性、論理性、表現力を総合的に評価します。
生命 地域食物科学科	面　接	口頭試問を含みます。農業や食品産業への興味の強さ、目的意識、論理性、適性等を総合的に評価します。
生命 環境科学科	面　接	口頭試問を含みます。環境と人間社会の関係を総合的に学ぶための目的意識・適性・基礎知識、応答の的確性、論理性、表現力を総合的に評価します。
生命 地域社会システム学科	面　接	口頭試問を含みます。社会科学をはじめとする本学科での学びの基礎となる学力の３要素の定着度合い、アドミッションポリシーを踏まえた志望動機、目的意識の明確性、応答の的確性を総合的に評価します。

④ 配　　点

＊(　)は選択科目の配点を示します。

学科	選抜段階	大学入学共通テスト							個別学力検査等				合計
		国	地歴	公民	数	理	外	計	小	面	他	計	
工学 機械工学科	1次	-	-		-	-	-	-	-	600	-	600	600
	最終	100	50		150	150	150	600	-	600	-	600	1,200
工学 メカトロニクス工学科	1次	-	-		-	-	-	-	200	200	適否	400	400
	最終	200	100		200	200	200	900	200	200	-	400	1,300
	【他】「調査書」(適否) を評価します。												
工学 電気電子工学科	1次	-	-		-	-	-	-	200	150	50	400	400
	最終	200	-		200	200	200	800	200	150	50	400	400
	＊第1段階選抜を重視し、大学入学共通テストは基礎学力の参考として利用します。 【他】「調査書」(50) を評価します。												
工学 コンピュータ理工学科	1次	-	-		-	-	-	-	-	-	適否	-	-
	最終㋐	-	-		200	-	-	200	-	-	-	-	200
	最終㋑	-	-		-	200	-	200	-	-	-	-	200
	最終㋒	-	-		200	200	200	600	-	-	-	-	600
	最終㋓	400	-		200	-	400	1,000	-	-	-	-	1,000
	＊最終選抜について、上から、数学重視型、理科重視型、英数理バランス型、言語力重視型の配点を示します。各型の配点合計の違いは合否に影響することはありません。また、ある型の合否が他の型の合否に影響することはありません。 【他】「調査書」(適否)、「多面的・総合的な評価のための申告書」(適否) を評価します。												
工学 土木環境工学科	1次	-	-		-	-	-	-	300	150	50	500	500
	最終	200	100		300	300	200	1,100	300	150	50	500	1,600
	【他】「調査書」(50) を評価します。												
工学 応用化学科	1次	-	-		-	-	-	-	-	適否	適否	-	-
	最終	-	-		(50) (50)	100 (50)	(50)	200	-	-	20	20	220
	＊最終選抜について、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、物理、英語の4科目を各50点満点に換算し、「得点の高い2科目」に化学 (100) を加えた計 (200) を利用します。 ＊第1段階選抜について、面接 (適否)、「調査書」(適否) を評価します。 【他】最終選抜について、「多面的・総合的な評価のための申告書」(20) を評価します。												
工学 先端材料理工学科	1次	-	-		-	-	-	-	40	60	適否	100	100
	最終	200	100		200	200	200	900	40	60	-	100	1,000
	【他】「調査書」(適否)、「多面的・総合的な評価のための申告書」(適否)、「志願者評価書」(適否) を評価します。												

学科	選抜段階	大学入学共通テスト							個別学力検査等				合計
		国	地歴	公民	数	理	外	計	小	面	他	計	
生命 生命工学科	1次	-	-		-	-	-	-	-	適否	適否	-	-
	最終	200	100		200	200	200	900	-	-	-	-	900
	＊第1段階選抜について、面接（適否）、「調査書」（適否）、「志願者評価書」（適否）、「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。												
生命 地域食物科学科	1次	-	-		-	-	-	-	-	適否	適否	-	-
	最終	200	100		200	200	200	900	-	-	-	-	900
	＊第1段階選抜について、面接（適否）、「調査書」（適否）、「志願者評価書」（適否）、「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。												
生命 環境科学科	1次	-	-		-	-	-	-	-	適否	適否	-	-
	最終	200	100		200	200	200	900	-	-	-	-	900
	＊第1段階選抜について、面接（適否）、「調査書」（適否）、「志願者評価書」（適否）、「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。												
生命 地域社会システム学科	1次	-	-	-	-	-	-	-	-	適否	適否	-	-
	最終	200	(100)	(100)	200	(100) (200)	200	800	-	-	-	-	800
	＊第1段階選抜について、面接（適否）、「調査書」（適否）、「志願者評価書」（適否）、「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。 ＊（ ）は選択科目の配点を示します。												

9. 受験上の注意

(1) 机の上には、鉛筆又はシャープペンシル（芯は HB 又は B の黒色に限る)、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り、時計（時計機能だけのもの)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋や箱から中身だけ取り出したもの）のみ置くことができます。
(2) 課せられた試験を 1 つでも受験しなかった場合、受験した全試験の成績を無効とします。
(3) 不正行為を行った場合、その場で受験の中止と退室を指示し、受験した全試験の成績を無効とします。
(4) 受験票に表示された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。
(5) 遅刻した場合は、試験開始後（教育学部においては、集合時刻から）30 分以内に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
(6) 自動車等による入構はできません。電車・バス等の公共交通機関を利用してください。
(7) 試験実施が困難になるような不測の事態（地震・大雪等）が発生した場合、ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination/9604）に対応措置等を掲載します。
(8) 出願後から試験当日までに、連絡事項等をホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291）に掲載する場合がありますので、試験の前に必ず確認してください。

＊不正行為

- カンニング（試験に関係するメモやコピー等を机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること
- 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること
- 配付された問題用紙を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと
- 解答用紙を試験室から持ち出すこと
- 「解答はじめ」の指示の前に、問題を見たり解答を始めること
- 試験時間中に、使用を許可されていない補助具を使用すること
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること
- 「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること
- 試験時間中に携帯電話や時計等の音を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること
- 試験時間中に、使用を許可されていない補助具、電子機器類や書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

10. 合格者発表

(1) 第 1 段階選抜発表

総Ⅱ	(工学部)	2022 年 11 月 28 日（月）
	(生命環境学部)	2022 年 12 月 2 日（金）
推Ⅱ	(医学部)	2023 年 2 月 7 日（火）

- 総Ⅱ 学校長及び志願者本人に選考結果通知書を郵送します。
  選考結果通知書には Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 推Ⅱ 学校長及び志願者本人に選考結果通知書を郵送します。
  選考結果通知書には大学共通テスト受験票に記載された氏名を使用します。
  ただし、志願倍率が募集人員の約 1.5 倍を超えなかった場合は、第 1 段階選抜を実施しない旨をホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）に掲載します。
  合格者には Web 出願サイトから受験票の印刷が可能になった旨をメールで通知します。
- ホームページ及び大学構内での掲示は行いません。また、電話等による合否の照会には応じません。
- 発表日から 3 日経過しても通知が届かない場合は、入試課へ照会してください。

(2) 合格者発表

総Ⅰ	(工学部)	2022 年 11 月 1 日（火） 16 時頃
推Ⅰ	(教育学部・医学部)	2022 年 12 月 9 日（金） 16 時頃
推Ⅱ 総Ⅱ	(医学部・工学部・生命環境学部)	2023 年 2 月 14 日（火） 16 時頃

- ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）に合格者の受験番号を掲示します。
- 合格者に合格通知書を、高等学校長に選考結果通知書を郵送します。
  合格通知書及び選考結果通知書には、原則 Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 大学構内での掲示は行いません。また、電話等による合否の照会には応じません。
- 本学では合否電報の受け付けは一切行っておりません。また、そういった行為を団体・個人に委託することもありません。合否電報に関するトラブル等が発生しても本学では責任を負いません。
- 教育学部・医学部（看護学科）・工学部（総Ⅰ）では、合格者に対して入学前教育を実施します。

11.入学手続

2023 年　2 月 15 日（水）～ 2023 年　2 月 20 日（月）

- 期間内に入学手続を完了しなかった方は、入学の意志がなく入学を辞退したものとみなします。
- 入学手続の詳細は Web 出願サイトに登録されたメール又は住所に通知します。
- 入学時の主な必要経費は次のとおりです。なお。金額は変更することがあります。
  - ・入学金　282,000 円【予定】
  - ・授業料　年額 535,800 円（前期 267,900 円・後期 267,900 円）【予定】
  - ・後援会費・同窓会費・学友会費等
    - 教育学部　64,000 円（後援会費・同窓会費・学友会費等、4 年分）【予定】
    - 医学部医学科　110,000 円（後援会費・学生会費等、6 年分）【予定】
    - 医学部看護学科　66,000 円（後援会費・学生会費等、4 年分）【予定】
    - 工学部　50,000 円（後援会費・同窓会費・学友会費等、4 年分）【予定】
    - 生命環境学部　48,000 円（後援会費・同窓会費・学友会費等、4 年分）【予定】
  - ・学生保険保険料（学生保険への全員加入を本学の方針としています）
- 医学部については、入学手続をした場合、入学当初から休学することは原則として認められません。
- 入学料・授業料の免除又は徴収猶予については、ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/campuslife/345）を参照してください。

＊注意事項

① 不合格となった場合に備えて、学校推薦型選抜・総合型選抜に出願した方でも、国公立大学の一般選抜（前期日程・後期日程からそれぞれ 1 つ）に出願することができます。また、総合型選抜 I に出願した方でも、総合型選抜 II に出願することができます。本学の他の選抜に出願する場合、該当の募集要項を確認の上、出願してください。なお、入学検定料の免除はありません。
＊公立大学協会ホームページ（https://www.kodaikyo.org/）参照

② 学校推薦型選抜・総合型選抜に合格した方は、本学及び他の国公立大学を受験しても入学許可は得られません。ただし、特別の事情により、高等学校長等から「入学辞退願」が提出され、本学学長が 2023 年 2 月 20 日（月）16 時【厳守】までに入学辞退を許可した場合を除きます。

③ 学校推薦型選抜・総合型選抜に入学手続した方は、これを取り消して、他の国公立大学の入学手続をすることはできません。

④ 学校推薦型選抜・総合型選抜に入学手続した方が、当該高等学校等を卒業できなかった場合は、入学許可を取り消します。

⑤ 学校推薦型選抜について、入学の確約に違約した場合及び出願書類に虚偽の記載が判明した場合は、次年度以降当該学校からの推薦を受理しないことがあります。

⑥ 入学手続には本学受験票及び大学入学共通テスト受験票（学校推薦型選抜 II ・総合型選抜 II の合格者）の提出が必要となりますので、受験後も大切に保管してください。

12.個人情報の取扱い

「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」及び「山梨大学個人情報保護規則」に基づき、次のとおり取り扱います。

(1) 出願書類に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤今後の入学者選抜方法検討や志願動向の分析、大学教育の改善に関する調査・研究を行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。
(2) 入学者については、知り得た個人情報を、①教務関係（学籍・修学指導等)、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
(3) 国公立大学における一般選抜の合格者決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続に関する個人情報（氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、大学入学共通テスト受験番号）が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
(4) 上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（受託業者）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、受託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
(5) 個人情報及びプライバシー情報保護のため、選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することもありません。

13.その他の留意事項

＊出願状況の情報提供について

出願期間後、出願状況をホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）に掲載します。

＊（医学部合格者）住居の選定について

本学は、甲府キャンパス（教育学部、工学部、生命環境学部）と医学部キャンパス（医学部）があり、両キャンパス間は約 10km 離れています。医学部 1 年次生は、主として甲府キャンパスにおいて全学共通教育科目等を受講しますが、週 2 日程度は医学部キャンパスにおいて専門科目を受講します。2 年次生からは医学部キャンパスにおいて専門科目を中心に受講します。住居の選定に当たっては、このことを十分考慮してください。

＊（医学部合格者）休学について

本学医学部医学科・看護学科合格後、大学への入学手続きをした場合、入学当初から休学することは認められません。

但し、特段の事情がある場合は、医学部教授会の審議により休学が認められることがあります。

14. 入学試験における感染症対応

入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘等）に罹患して治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の態勢で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。

ただし、令和５年度入試については、特例措置として新型コロナウイルス感染症の罹患者等に対する追試験を次のとおり実施します。

選抜	学部	追試験期日	選抜方法	合格者発表	入学手続
推Ⅰ	教育	11 月 26 日(土)	本試験と同様	本試験と同様	本試験と同様
	医学	12 月 3 日(土)	本試験と同様	本試験と同様	本試験と同様
推Ⅱ	医学	2 月 13 日(月)	本試験と同様	本試験と同様	本試験と同様
総Ⅰ	工学	11 月 19 日(土)	本試験と同様	11 月 28 日(月)	本試験と同様
総Ⅱ	工学	12 月 10 日(土)	本試験と同様	[第 1 段階選抜発表] 12 月 16 日（金） [合格発表] 本試験と同様	本試験と同様
	生命	来学不要	＊	本試験と同様	本試験と同様

＊「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」を総合して判定します。

新型コロナウイルス感染症の罹患者等に対する追試験

① 対 象 者

次の理由により本試験を受験しなかった方のうち、指定する期限までに申請を完了し、追試験の受験を許可された方とします。なお、試験開始後の発病等については、追試験の対象とはしません。

(1) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方

(2) 試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方

＊発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者は、受験条件（受験生に対する要請事項③）を全て満たす場合、本試験の受験（別室受験）を認めます。本試験の受験を希望する場合は、事前に入試課へ電話連絡の上、前日の 10 時【必着】までに濃厚接触者本試験受験申請書を代理人による持参、郵送、FAX 又はメールにより提出してください。

(3) 海外から日本に入国して受験する場合に、入国後の待機期間中の方

(4) 試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがあり、医療機関を受診して診断書等を提出できる方

(5) 基礎疾患等により重症化しやすい方で、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状があり、医療機関を受診して診断書等を提出できる方

(6) 発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く方で、医療機関を受診して診断書等を提出できる方

② 申請期限及び申請方法

本試験当日の 10 時【必着】までに入試課へ電話連絡の上、本試験当日の 17 時【必着】までに追試験受験申請書及び診断書等（治療期間が明記されたもの）を代理人による持参、郵送、FAX 又はメールにより提出してください。提出書類の内容を確認の上、申請結果を回答します。なお、診断書を FAX 又はメールで提出した方は、追試験の前日までに原本を必ず郵送により提出して下さい。

入 試 課　〒400-8510　山梨県甲府市武田 4-4-37
TEL：055-220-8046　FAX： 055-220-8795　メール：nyushi@yamanashi.ac.jp

③ 留意事項

(1) 追試験は、新型コロナウイルス感染症の罹患等でやむを得ず受験できなかった受験者に対する受験機会確保のための措置であることから、必ずしも追試験受験者の中から合格者を出すというものではありません。

(2) 虚偽の申請が認められた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(3) 追試験の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。

受験生に対する要請事項

① 感染防止のための注意事項
日頃から感染防止について心がけ、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。

② 医療機関での受診
試験日の１週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関を受診してください。

③ 受験できない方
新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方は受験できません。ただし、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者のうち、次の条件全てに該当する場合は、本試験の受験（別室受験）を認めます。
(1) 初期スクリーニング（自治体による PCR 検査及び検疫所における抗原定量検査）の結果、陰性であること（結果が判明するまでは本試験を受験できません。追試験受験を申請・受験してください。）
(2) 試験当日も無症状であること
(3) 公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に来られること（海外から日本に入国して受験する場合、受験生は防疫対策として要請される事項に基づき行動することから、入国後に待機を要請される場合は、その期間は受験できないため、待機期間の有無を確認の上、余裕を持って入国すること）

④ 受験の取り止め
試験日の前から継続して発熱・咳等の症状のある受験生は、追試験を申請・受験してください。

⑤ 試験当日における対応
試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい受験生が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、試験当日における対応等について、かかりつけ医や受診・相談センター（地域により名称が異なる）に相談するとともに、追試験を申請・受験してください。また、上記に該当しないものの、発熱や咳等の症状のある受験生は、その旨を試験監督者等に申し出てください。症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では、昼食時以外は常に着用してください。休憩時間や昼食時、入退場時等における他者との接触、会話を極力控えてください。

⑥ 試験当日の服装・昼食
試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。また、試験場で食堂（大学会館・厚生会館）の営業等は行わないため、昼食を持参し、自席で黙食してください。また、食事を取り終えた後は、速やかにマスクを着用してください。

⑦ 予防接種
他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望まれます。

⑧ 「新しい生活様式」等の実践
日頃から、「三つの密」の回避や、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生、換気をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

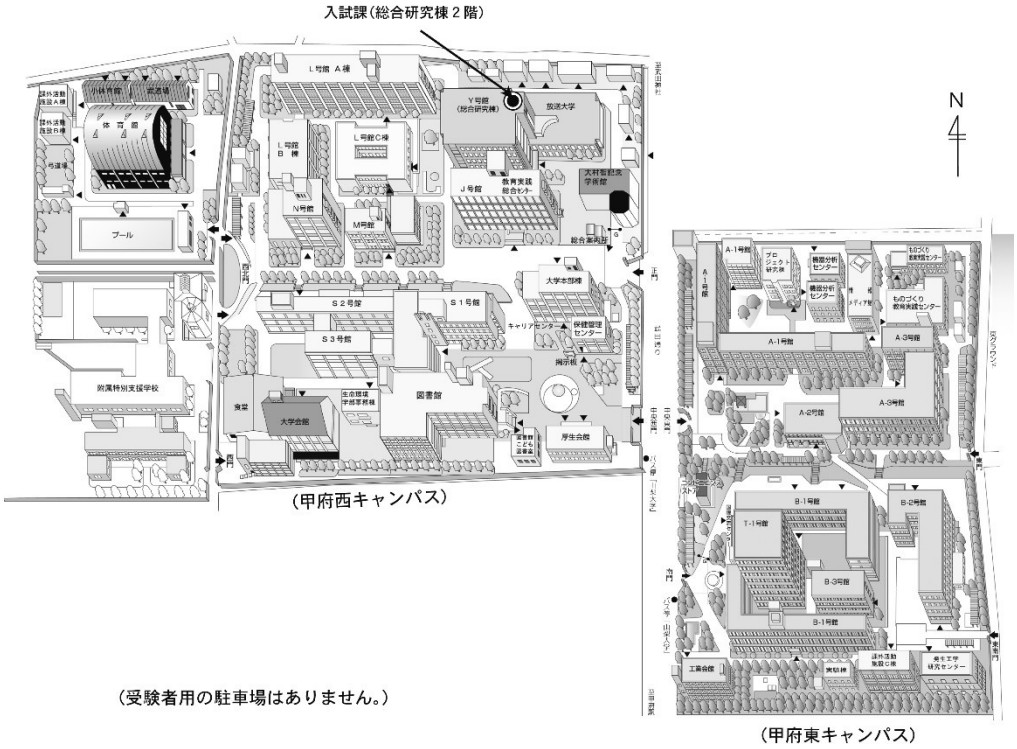
⑨ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード
「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA：COVID-19 Contact Confirming Application）は、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができるものであり、その後の検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができることから、これを活用することが望まれます。地域独自の QR コード等による追跡システムがある場合には、その利用も望まれます。なお、通知を受けたことが直ちに濃厚接触者であることを意味するものではないことに留意してください。

⑩ 受験生以外の方の入構について
感染防止の観点から受験生以外の方は入構できません。また、付添人等の控室も設置しません。

15. 甲府キャンパス案内図

所 在 地　〒400-8510　山梨県甲府市武田 4-4-37

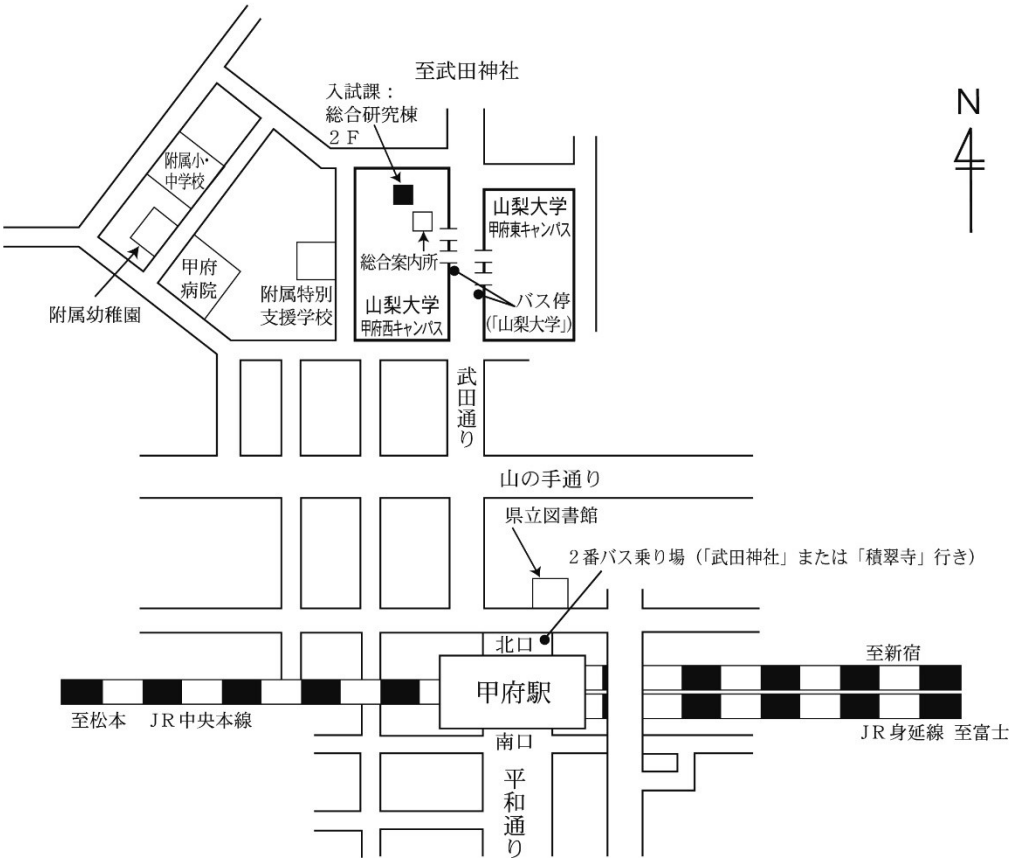
甲府キャンパス建物配置図



（受験者用の駐車場はありません。）

甲府キャンパス周辺図

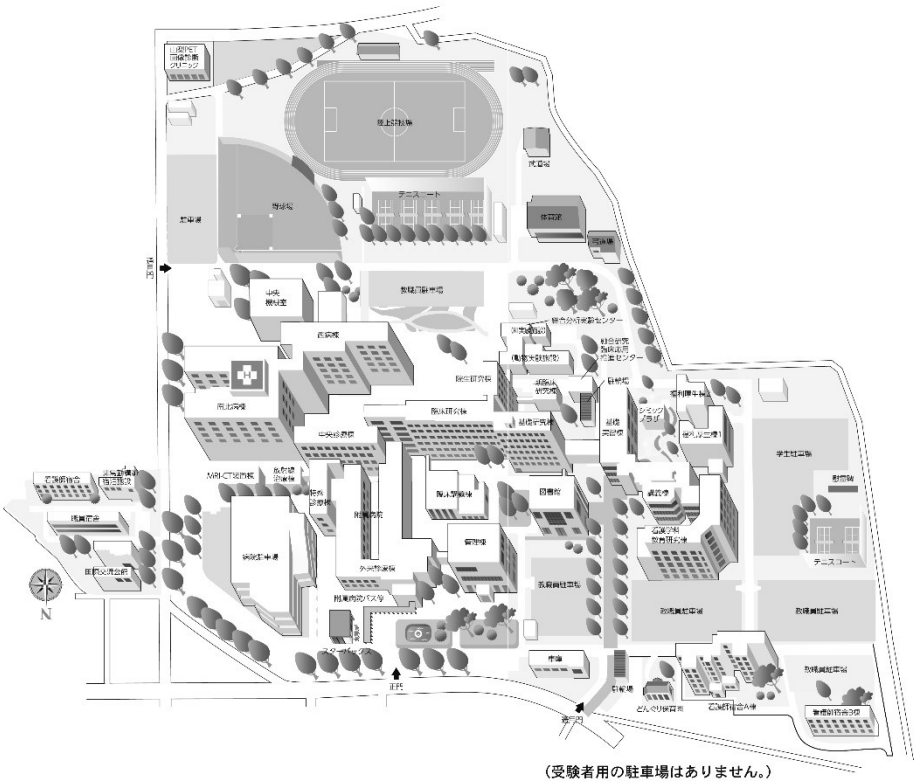
ＪＲ甲府駅下車、北口から徒歩約 15 分
ＪＲ甲府駅下車、北口からバスで約５分（「武田神社」又は「積翠寺」行き） バス停「山梨大学」下車



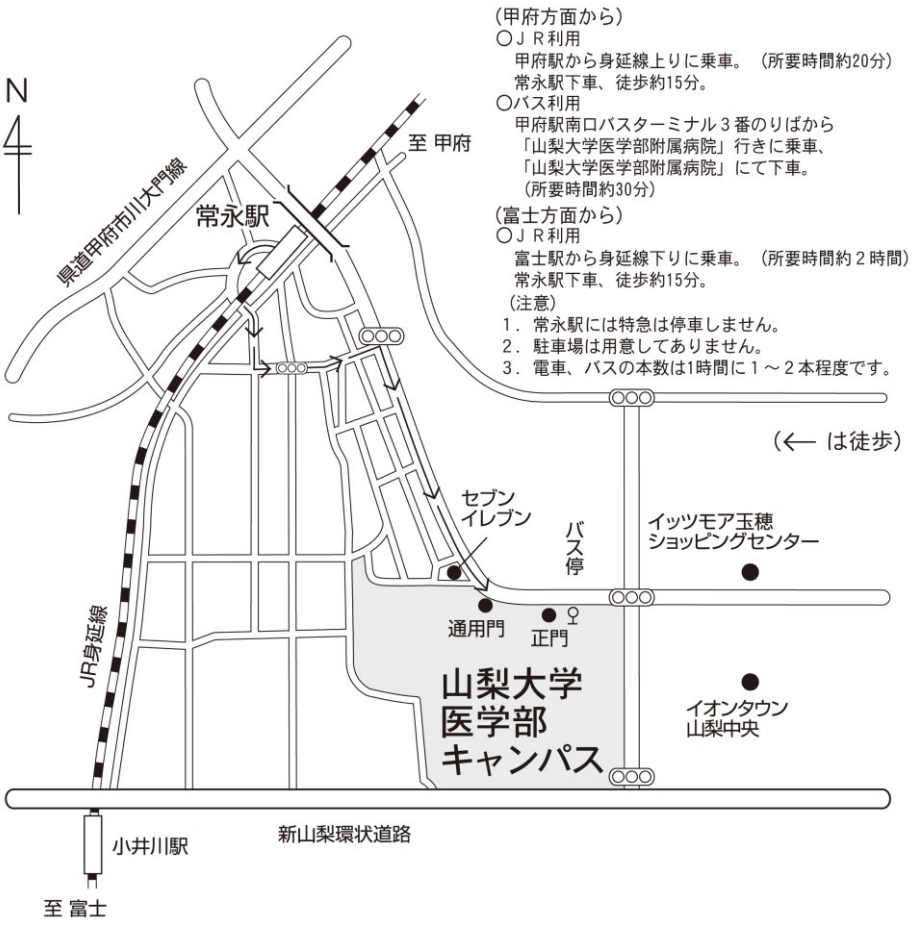
16. 医学部キャンパス案内図

所 在 地　〒409-3898　山梨県中央市下河東 1110

医学部キャンパス建物配置図



医学部キャンパス周辺図



（甲府方面から）
○ＪＲ利用
甲府駅から身延線上りに乗車。（所要時間約20分）
常永駅下車、徒歩約15分。
○バス利用
甲府駅南口バスターミナル３番のりばから
「山梨大学医学部附属病院」行きに乗車、
「山梨大学医学部附属病院」にて下車。
（所要時間約30分）

（富士方面から）
○ＪＲ利用
富士駅から身延線下りに乗車。（所要時間約２時間）
常永駅下車、徒歩約15分。

（注意）
1．常永駅には特急は停車しません。
2．駐車場は用意してありません。
3．電車、バスの本数は1時間に１～２本程度です。

（← は徒歩）

（学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜）

受験番号 ※大学側で記入します。	

多面的・総合的な評価のための申告書

氏　名		学校名	
志望先	学部	課程	コース
		学科	系・プログラム （教育学部　学校推薦型選抜Ⅰのみ）

① 高等学校等に入学してから現在までの学校内外の諸活動（ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、資格取得など、主な活動実績）と、そこから学んだことを記入してください。

② 上記志望先の志望理由、入学後に学びたい内容とその計画、大学卒業後の目標を記入してください。

活動実績報告書・活動実績報告書証明書類(表紙)　作成要領

活動実績報告書は、教育学部学校教育課程芸術身体教育コース保健体育系の実技検査として使用するものです。本作成要領に基づき、高等学校長が作成してください。

1.「主な種目名・活動実績名等」欄は、主となる種目名・活動実績名を一つだけ記入してください。

2.「参加大会名等」欄は、高等学校在籍時に出場した全国・ブロック・県及び地区の各大会等の中で、主要な実績の正式名称を記入してください（４つ以内)。

3.「開催地・開催年月」欄は、活動を行った場所・開催年月を記入してください。

4.「成績・記録・参加状況等」欄は、順位等の成績をできるだけ具体的に記入してください。
（優勝、ベスト８、２回戦敗退（ベスト 32)、奨励賞受賞など）

5.「学年」欄は、該当する学年を記入してください。

6.「本人が果たした役割」欄は、ポジション、役割、貢献度（大会等の出場実態：スターティングメンバー、途中交代、リザーブで出場なし等）をできるだけ具体的に記入してください。

7.「その他」欄は、特筆すべき活動実績がある場合に記入してください。

8. 記入した活動実績すべてについて、「活動実績報告書証明書類（表紙)」の作成上の注意に従って、上記２～６の内容が証明される書類（本人が大会等で実際に活動（競技・演技）したことがわかる個人名が明記された書類又はそのコピー）を必ず添付してください。

※　活動実績報告書証明書類の該当箇所には蛍光ペン等でマークを付してください。

※　成績と個人名のある賞状・公式記録・主催団体の証明書のほか、大会名・成績・個人の出場記録のすべてが記載されている新聞や専門雑誌などでも構いません。

※　スコアブック等で本人の出場状況を示す場合には、それが公式記録と一致していることが主催団体によって証明されているものに限ります。

※　エントリーシートや大会プログラムは不可とします。

※　証明書類が添付できない場合は、原則として活動実績の検査ができませんので注意してください。

※　提出した証明書類は返却できません。

9. 活動実績がない場合は、「その他」欄に「活動実績なし」と記入の上、本報告書を提出してください。この場合、原則として活動実績の検査ができませんので注意してください。

10. 手書き、パソコン入力を問いません。文字色は黒とします。

11. 受験番号欄は大学側で記入します。

受験番号 ※大学側で記入します。	

活動実績報告書

フリガナ		生年月日	
氏　名		平成　　年　　月　　日	
身　長	cm	体　重	kg

主な種目名・活動実績名等					
資料番号	参加大会名等	開催地・開催年月	成績・記録・参加状況等	学年	本人が果たした役割
1		(　　年　月)		年	
2		(　　年　月)		年	
3		(　　年　月)		年	
4		(　　年　月)		年	
その他					

本書の記載事項に誤りがなく、「活動実績報告書証明書類」に不備がないことを証明する。

学校名 ＿＿＿＿＿＿＿＿　　学校所在地 ＿＿＿＿＿＿＿＿

学校長名 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 職印　　記入年月日　令和　　年　　月　　日

（教育学部　一般選抜・学校推薦型選抜Ⅰ）

活動実績報告書証明書類(表紙)

活動実績報告書 資料番号	

氏名		受験 番号		証明書類の有無	有 ・ 無
参加大会名等					
証明書類が 添付できない理由					
令和　　年　　月　　日　　記載者役職名					
証明書類に不備がないことを証明する。　　記載者氏名					㊞

【作成上の注意】

(1)　活動実績報告書証明書類はA4用紙に統一してください。活動実績報告書に記入した資料番号に合わせ、この用紙を表紙として左上をホチキスで綴じてください。

(2)　記載者は出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者とします。

(3)　証明書類は志願者本人の責任で決めてください。

(4)　証明書類が無い場合は、出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者が、「証明書類が添付できない理由」を具体的に記入してください。

(5)　受験番号欄は大学側で記入します。

---------- ＜切り取り線＞ ----------

（教育学部　一般選抜・学校推薦型選抜Ⅰ）

活動実績報告書証明書類(表紙)

活動実績報告書 資料番号	

氏名		受験 番号		証明書類の有無	有 ・ 無
参加大会名等					
証明書類が 添付できない理由					
令和　　年　　月　　日　　記載者役職名					
証明書類に不備がないことを証明する。　　記載者氏名					㊞

【作成上の注意】

(1)　活動実績報告書証明書類はA4用紙に統一してください。活動実績報告書に記入した資料番号に合わせ、この用紙を表紙として左上をホチキスで綴じてください。

(2)　記載者は出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者とします。

(3)　証明書類は志願者本人の責任で決めてください。

(4)　証明書類が無い場合は、出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者が、「証明書類が添付できない理由」を具体的に記入してください。

(5)　受験番号欄は大学側で記入します。

（教育学部　学校推薦型選抜Ⅰ）

受験番号 ※大学側で記入します。	

学　校　長　推　薦　書

作　成　日　　年　　月　　日

山梨大学長殿

学　校　名

学校長氏名　　職印

下記の者を、貴大学教育学部 学校教育課程の学校推薦型選抜志願者としてふさわしい者と認め、出願資格を満たすことを確認し、責任をもって推薦します。なお、下記の者は、本年度において、国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、貴大学教育学部 学校教育課程のみです。

記

氏　名		年　月　日 生	
		年　月　日	卒　業 卒業見込
試験区分 ・ 志望先	A　教科別推薦入試 B　専門・総合学科推薦入試 C　山梨県の小学校教員志望者推薦入試 該当する記号を○で囲んでください。	コース	
		系・プログラム	

学習成績の状況	全　体	各系が指定する教科

数学Ⅲの履修状況 （科学教育コース 数学教育系のみ記入）	数学Ⅲの履修学年	数学Ⅲの代替科目又は対応科目 （理数数学Ⅰ・Ⅱ等）
	年	

人物・生活態度 A：非常に際立っている　B：際立っている　C：普通　D：やや劣っている	評　価 該当する記号を○で囲んでください。
学問的資質（論理的思考力・創意工夫など）	A・B・C・D
学問及び生活上の向上心（積極性・意欲など）	A・B・C・D
自律能力（自主性・忍耐力・勤勉さなど）	A・B・C・D
社会性（指導力・協調性など）	A・B・C・D

推薦書（裏面：両面印刷してください。）

推薦理由
記載責任者　　印

【記入にあたってのお願い】

(1) 全体の学習成績の状況は、高等学校生徒指導要録に基づき、全ての教科・科目の評定の合計数を全ての評定数で除した数値（小数点以下第２位を四捨五入）を記入してください。

(2) 推薦理由については、推薦する根拠をできるだけ客観的・具体的事実に基づき、「人物・生活態度」の評価とも絡めながら記入してください。

(3) 科学教育コース数学教育系に志願する方で、専門教育を主とする学科等に在籍している方は、「数学Ⅲ」の代替科目又は対応科目欄に、「理数数学Ⅰ」、「理数数学Ⅱ」などの代替科目又は対応科目を記入してください。

（医学部　学校長推薦書の作成について）

学校長　殿

山梨大学

学校長推薦書の作成について（依頼）

本学医学部学校推薦型選抜では、課外活動等にも積極的に参加して充実した高等学校若しくは中等教育学校生活を送り、人物、学力ともに優秀で、本学を志願する明確な動機と医学の分野で社会に貢献しようとする強い意欲を持った生徒の推薦を求めています。

推薦の趣旨をご理解いただき、高等学校３年間の評価に基づく学校長推薦書を、下記の作成要領に従って作成してくださいますようお願い致します。

作　成　要　領

１　推薦する理由

本人を推薦する理由、医学又は看護学を学ぶ能力・適性があると認められる理由及び該当学科を志願する理由を具体的に記入してください。

２　課外活動・クラス役員など

次の（1）～（5）につき、具体的に記入してください。（箇条書きでもかまいません。）

(1) 各学年ごとのホームルームにおける役員名と活動状況
(2) 全校的な役員をしたことがあれば、その学年、役員名と活動状況
(3) 所属クラブ等の名称と活動状況
(4) 校外での活動があれば、その加入団体名と活動状況
(5) 特技、その他の特記すべきこと

３　その他

学校長推薦書様式（Word 形式）は、本学ホームページからダウンロードできます。

（医学部　学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ）

受験番号 ※大学側で記入します。	

学　校　長　推　薦　書

作　成　日　　年　　月　　日

山梨大学長殿

学　校　名

学校長氏名　　職印

下記の者を、貴大学医学部　　学科の学校推薦型選抜志願者としてふさわしい者と認め、出願資格を満たすことを確認し、責任をもって推薦します。なお、下記の者は、本年度において、国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、貴大学医学部　　学科のみです。

記

氏　名		年　月　日	生
		年　月　日	卒　業 卒業見込

推薦理由（医学又は看護学を学ぶ能力・適性があると認められる理由及び当該学科を志願する理由を記載してください。）

特記事項（ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動、特技等について記載してください。）

記載責任者　　印

（医学部　学校推薦型選抜Ⅱ）

受験番号 ※大学側で記入します。	

誓　　約　　書

作　成　日　　年　　月　　日

山梨大学長殿
山梨県知事殿

私は、山梨大学医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）に出願するにあたり、入学を許可された上は、地域枠の趣旨である山梨県内の医師不足解消を目的に、将来地域医療への就業義務があることを理解し、下記の事項を遵守することを誓います。

記

① 事前に山梨県のホームページで山梨県医師修学資金貸与制度（第二種）を確認し、制度の内容を理解しています。

② 入学試験に合格した場合は入学することを確約し、山梨県医師修学資金貸与制度（第二種）を利用するための契約を山梨県と締結します。

③ 医師修学資金を返還しても、就業義務が消えないことを理解しています。また、医師免許取得後、死亡又は重大な心身の故障等により医業に携わることができない場合を除き、結婚、介護、子育て、家業の継承等、多くの者が経験する事情では就業義務が消えないことを理解しています。

④ 卒業後 2 年以内に医師免許を取得し、医師免許取得後 15 年間のうち 9 年間を山梨県内の医療機関において診療に従事します。

⑤ 初期臨床研修（医師免許取得後最初の 2 年間）は、必ず山梨県内の研修病院で行います。

⑥ 医師免許取得後 15 年以内（災害・疾病等のやむを得ない理由により医師の業務に従事することができない期間は、15 年に算入しない）に専門研修を受ける場合には、必ず山梨県内の病院で行います。

⑦ 山梨県が作成したキャリア形成プログラムに基づき地域医療に従事する旨の契約を山梨県と締結し、違反した場合は違約金を支払います。

⑧ 上記に違反した場合、出身高等学校に連絡が行く可能性があることを理解しています。

志願者氏名（自筆）　　印

保護者氏名（自筆）　　印

（工学部　総合型選抜Ⅰ・Ⅱ）
（生命環境学部　総合型選抜Ⅱ）

受験番号 ※大学側で記入します。	

志　願　者　評　価　書

作成日　　年　　月　　日

山梨大学長殿

学校名

学校長氏名　　職印

下記の者を、貴大学＿＿＿＿＿学部の総合型選抜志願者として、責任をもって評価します。

記

氏名		年　月　日 生
		年　月　日 卒業 卒業見込

【知識・技能】に関する所見

【思考力・判断力・表現力】に関する所見

【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】に関する所見

【求める学生像（アドミッションポリシー）】に関する所見

記載責任者　　印

（工学部　総合型選抜Ⅱ　機械工学科）

受験番号	T	M	8			

面接用事前レポート

氏　名		学校名	

別途郵送する「課題及び作成要領」に掲載する作成要領に基づき作成し、第１段階選抜当日に持参すること。

（学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜・私費外国人留学生入試）

受験番号							

濃厚接触者本試験受験申請書 兼 追試験受験申請書

申請日　　年　　月　　日

氏名

□ 私は、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされましたが、受験条件（『募集要項「受験生に対する要請事項③」』）を全て満たしますので、本試験の受験（別室受験）を申請します。

□ 私は、次の理由により本試験を受験できませんので、追試験の受験を申請します。

- □ 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中
- □ 試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた
- □ 海外から日本に入国して受験する場合に、入国後の待機期間中
- □ 試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある
- □ 基礎疾患等により重症化しやすい受験生で、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある
- □ 発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続いている
- □ その他、特別の理由（　　）

記

選抜区分	□ 一般選抜 前期日程	志望学部	□ 教育学部
	□ 一般選抜 後期日程		□ 医学部
	□ 学校推薦型選抜 I		□ 工学部
	□ 学校推薦型選抜 II		□ 生命環境学部
	□ 総合型選抜 I	志望学科等	学科 コース プログラム
	□ 総合型選抜 II		
	□ 私費外国人留学生入試		
住所	（〒　　－　　）		
電話番号			
メール			
代理人	代理人が提出する場合のみ記入してください。 （氏名）　　（続柄）		

保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方のみ記入してください。

濃厚接触者に該当すると判断した保健所等の名称	
保健所から濃厚接触者に該当すると連絡のあった日	年　月　日
保健所から健康観察期間として 不要不急の外出を控えるよう指示されている期間	年　月　日　から 年　月　日　まで
保健所による PCR 検査の結果 又は 検疫所による抗原定量検査の結果	□陽性／□陰性

問い合わせ

山梨大学 教学支援部 入試課

住所	〒400-8510　山梨県甲府市武田 4 丁目 4-37
TEL / FAX	055-220-8046 / 055-220-8795
メール	nyushi@yamanashi.ac.jp
ホームページ	https://www.yamanashi.ac.jp
Web 出願サイト	https://syutugan.yamanashi.ac.jp
窓口対応時間	平日(月～金)　9:00～12:00・13:00～17:00 ＊土・日・祝日、夏季一斉休業（8/12～16)、 年末年始（12/29～1/3）を除く